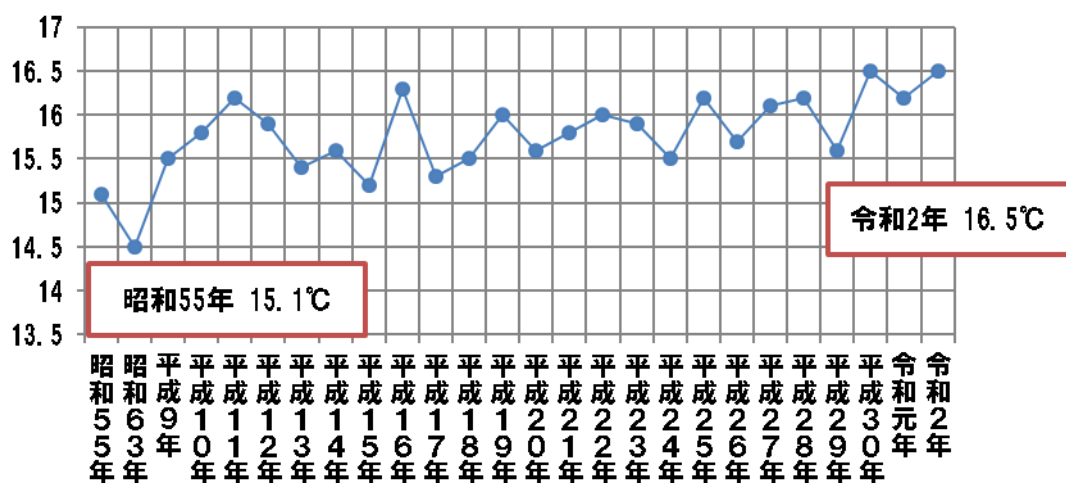


綾瀬市環境報告書

令和2年度取組結果

綾瀬市の平均気温



◇綾瀬市の平均気温の変化:昭和55(1980)年から平均気温が1.4°C上昇
※要因として、ヒートアイランド現象や地球温暖化が考えられます。



目 次

1	はじめに	1
	第2次綾瀬市環境基本計画	2
2	令和2年度 of 取組評価（まとめ）	3
3	各計画の報告	
	（1）第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標結果	6
	（2）第3期綾瀬市環境行動計画 取組結果	9
	（3）綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）取組結果	12
	（4）第3次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）取組結果	21
	（5）あやせ環境教育推進基本計画 取組結果	26
	【 資料編 】	
	（1）第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標	29
	（2）第3期綾瀬市環境行動計画	33
	（3）第3次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	43
	（4）あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）	48
	（5）市民環境団体の活動報告	55
	（6）エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告	58

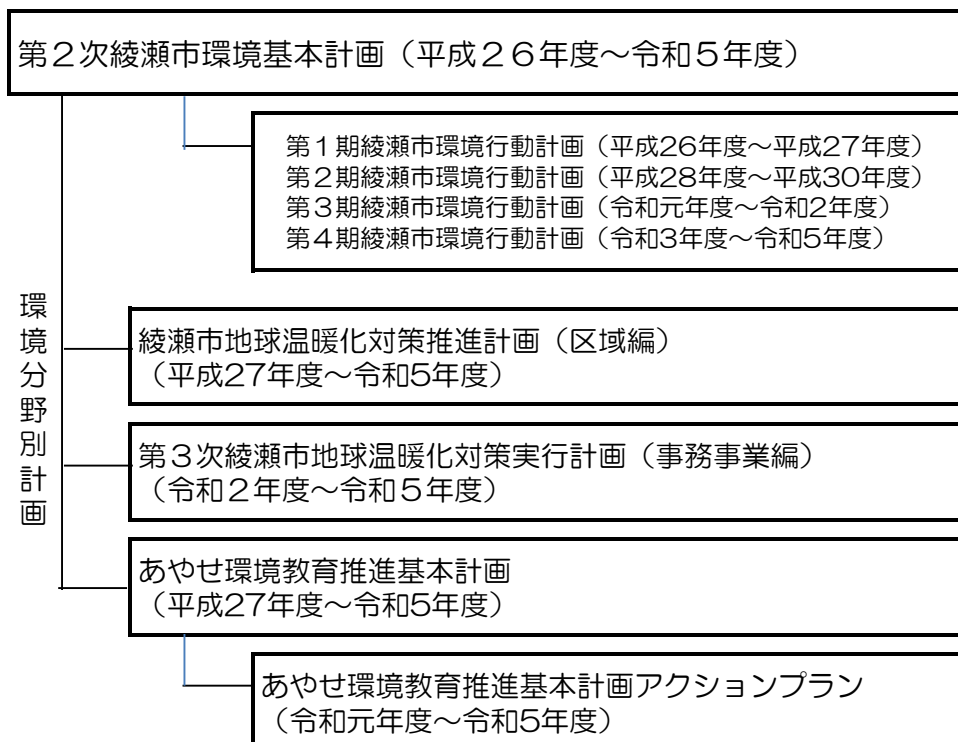
1 はじめに

本報告書は、綾瀬市環境基本条例第12条の規定により、「第2次綾瀬市環境基本計画（以下「基本計画」という。）」に基づき、令和2年度に実施した施策の状況等を公表するものです。

基本計画は、環境分野のマスタープランであり、6つの環境の将来像、20の基本目標の実現に向けて、市民・市民団体、事業者、市の取組内容等を示し、計画の進み具合を確認するため、環境目標や政策目標等の指標とその達成状況を示しています。加えて、環境保全などの取組内容については、「綾瀬市環境行動計画（以下「行動計画」という。）」として設定し、概ね3年毎に見直しを図っています。

また、環境分野別計画を策定し、各種環境施策を推進しています。

- ・綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）（以下「区域編」という。）：本市域から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「事務事業編」という。）：1事業所として綾瀬市役所（本庁舎及び出先機関）から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・あやせ環境教育推進基本計画（以下「教育計画」という。）：環境教育・環境学習を進めるための計画



【 第 2 次 綾 瀬 市 環 境 基 本 計 画 】

基本
テーマ

環境の将来像

基本目標

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを實踐し、安全なまちづくりを進める

くあやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざしてく

環境の将来像Ⅰ
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち
(自然共生社会の構築)

- 1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます
- 2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
- 3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります
- 4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

環境の将来像Ⅱ
生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち
(生活環境の保全・改善)

- 1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
- 2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
- 3 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします

環境の将来像Ⅲ
歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち
(文化・都市環境の形成)

- 1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
- 2 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります
- 3 人と環境にやさしい交通体系を整備します
- 4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます
- 5 ごみが散乱しないきれいなまちにします

環境の将来像Ⅳ
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
(循環型社会の構築)

- 1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します
- 2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます

環境の将来像Ⅴ
地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち
(低炭素社会の構築)

- 1 電気・ガスなどの省エネルギー化やエネルギーの有効利用を進めます
- 2 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます

環境の将来像Ⅵ
環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち
(協働社会の構築)

- 1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます
- 2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます
- 3 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます
- 4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます

2 令和2年度の取組評価（まとめ）

令和2年度の各計画の取組評価は、次のとおりとなりました。

【各計画の目標達成状況】

(1) 基本計画の令和2年度環境指標として掲げられた44指標のうち、25指標を目標どおり実施しました。18指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

【本文：P6～8、資料編P29～32】

(2) 行動計画として設定した53項目のうち、31項目を目標どおり、8項目をほぼ目標どおり実施し、11項目が一部未実施又は一部未達成、3項目が未実施又は未達成となりました。

【本文：P9～11、資料編：P33～41】

(3) 区域編における、綾瀬市内からの二酸化炭素排出量（平成30年度）は、806千t-CO₂となり、目標排出量883千t-CO₂以下を達成しました。

【本文：P12～20】

(4) 事務事業編における、市役所業務からの二酸化炭素排出量は、6,345t-CO₂となり、目標排出量7,235t-CO₂以下を達成しました。

【本文：P21～25、資料編：P43～47】

(5) 教育計画の行動計画「あやせ環境教育推進基本計画アクションプラン（以下「アクションプラン」という。）」に設定した49項目のうち、29項目を目標どおり、3項目をほぼ目標どおり、5項目が一部未実施又は一部未達成、12項目が未実施又は未達成となりました。また、市立小・中学校での36項目の行動についても実施できました。

【本文：P26～28、資料編：P48～54】

【 各計画の推進方針 】

- (1) 環境指標については、達成率の低かった環境の将来像Ⅰ（自然共生社会の構築）、環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）及び環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）の達成率向上を目指し、取り組みます。
- (2) 行動計画については、未実施又は未達成となった3項目について、達成できるよう取り組みます。
- (3) 区域編については、目標を達成しました。引き続き「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと21」などの事業に取り組みます。
- (4) 事務事業編については、目標を達成しました。引き続き、省エネルギー行動に取り組むとともに、太陽光発電設備設置などハード面の整備を検討します。
- (5) アクションプランについては、未実施又は未達成となった12項目について、達成できるよう取り組みます。

綾瀬市環境報告書 令和2年度取組結果 未実施又は未達成事項一覧

各計画の未実施又は未達成事項は、16項目となりました。

No.	目 標	結 果	今後の取組	ページ
第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標 (平成26～令和5年度)				
1	I 自然共生社会の構築 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を 守り、育みます【動植物】 1-1 あやせ生物多様性行動指針の策定と推進：27年度 までに策定、その後指針に基づいて推進	未策定	※生物多様性行動指針 は29年度に策定しない ことと決定	29
第3期綾瀬市環境行動計画 (令和元～2年度)				
2	I 自然共生社会の構築 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を 守り、育みます 8-4 生垣推奨事業の推進：1人以上	R2 申請0件	引き続き、制度のPRを 実施	34
3	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効 活用を進めます 33-4 市役所の水道使用量の削減：2%削減	H25 3,984m ³ R2 6,037m ³ (52%増)	維持管理の点検等で水 を使用する際に極力少 量で清掃を行うなど工 夫する	38
4	V 低炭素社会の構築 ② 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める 48-3 事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光 発電設備の設置・導入の促進・支援：助成1件以上	R2 申請0件	引き続き、制度のPRを 実施	40
あやせ環境教育推進基本計画 (アクションプラン) (平成27～令和5年度)				
5	2 地域社会における環境教育を担う人材の育成講座 等への参加	新型コロナウイルス 感染拡大により実施 なし	新型コロナウイルス感 染拡大の状況を考慮 し、実施可能な手法を 模索する。	48
6	4 学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等 への講師派遣			48
7	8 プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担 う指導者や教職員へのプログラムの情報提供			48
8	11 幼児が、楽しく、自然に学び、体験できる環境教 育プログラムを幼稚園や保育所へ提供			49
9	22 事業所対象の講座等の実施			50
10	25 生物多様性に係る情報の提供			50
11	26 自然観察会・学習会など啓発活動の実施			50
12	29 ふれあい農業体験の実施			50
13	30 地場農産物を活用した料理教室の実施			50
14	32 低公害車の普及・啓発事業の実施			51
15	33 エコドライブの啓発事業の実施			51
16	43 農業理解に役立つ情報提供 (広報紙等掲載)			51

3 各計画の報告

第2次綾瀬市環境基本計画

(平成26年度～令和5年度)

令和2年度 環境指標結果

1 環境指標の概要

本指標は、第2次綾瀬市環境基本計画の基本目標ごとに定められており、令和5年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 令和2年度環境指標の把握方法

市が実施した市民満足度調査や、各課に照会を行った内容をもとに把握しました。

3 令和2年度の環境指標結果

環境の将来像Ⅰ～Ⅵに掲げられた44指標のうち、25指標を目標どおり実施しました。18指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

各将来像の達成状況は次のとおりとなりました(資料編参照P29～)。

○：目標達成、△：着手したが目標値に届かなかった、×：未達成

◆**環境の将来像Ⅰ** 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築) 10指標：○5指標、△4指標、×1指標

○ 1-1「あやせ生物多様性行動指針の策定と推進」については、平成29年10月に開催した環境施策調整会議で、策定しないことを決定したため、未達成となっていますが、生物多様性に関する啓発等を実施することで、生物の多様性を育むための取組を進めます。

◆**環境の将来像Ⅱ** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善） 9 指標：○ 8 指標、△ 1 指標

○ 17-7「生活排水処理率」については目標値を達成できませんでした。その他の指標についてはすべて達成することができました。引き続き生活環境の保全・改善に向けた取組を進め、目標達成を目指します。

◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成） 1 1 指標：○ 5 指標、△ 6 指標

○ 22-3「市民一人当たりの公園面積」、24-5「公共交通機関（バス）利用満足度」など 6 つの指標について、目標を達成できませんでした。公共交通機関に関する取り組みについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響などから利用者の増加は見込まれない状況です。

なお、28-9「まち美化マナー宣言登録者数」は、平成 28 年 5 月に新規登録の受付を終了しました。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や 3 R が進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築） 5 指標：△ 5 指標

○ 31-1「市民 1 人 1 日あたりの家庭からのごみ排出量」、32-2「事業系ごみの減量化（排出量）」、33-3「焼却処理されるごみ量」、34-4「市民 1 人 1 日あたりの家庭可燃ごみ量」及び 35-5「リサイクル率」について目標値を達成できませんでした。循環型社会の構築を目指し、3 R などの普及啓発を行う必要があります。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築） 2 指標：○ 2 指標

○ 36-1「地球にやさしい生活を実践している市民の割合」及び 37-2「補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力」の 2 指標について目標を達成しました。引き続き低炭素社会の構築に向けて、省エネ・創エネを進めます。

◆環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築） 7 指標：○ 5 指標、△ 2 指標

- 41-4「あやせエコっと 2 1 家庭編（応募家庭数）」及び42-5「あやせエコっと 2 1 事業所（登録事業所）」について、目標を達成できませんでした。引き続き、市民や事業者などと協働し、地球環境保全の取組を進める必要があります。

4 今後の取組

「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、目標を達成することができましたが、そのほかの将来像については目標を達成できていない指標があります。

その中でも「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」について、目標に達しない指標が多く評価が低いことから、引き続きごみの減量化やリサイクル率向上を目指して市民や事業者に対し、普及啓発を行っていく必要があります。

また、「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」についても、取り組みは実施しているものの指標の半数以上が目標を達成できていません。人口減少や新型コロナウイルス感染拡大の影響で達成が難しい指標もありますが、引き続き歴史・文化資源を活かした環境と共生するまちを形成するため、取り組む必要があります。

第3期綾瀬市環境行動計画 令和元年度～令和2年度

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～

令和2年度 取組結果

1 令和2年度 環境行動計画の概要

本計画は、第2次綾瀬市環境基本計画の第3期行動計画として、基本目標ごとに定められており、令和2年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 令和2年度を取組状況の把握方法

取組状況の把握は、行動計画として定めた項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 令和2年度を取組結果

環境の将来像Ⅰ～Ⅵに掲げられた行政が行う53項目のうち、31項目を目標どおり、8項目をほぼ目標どおり実施し、11項目が一部未実施又は一部未達成、3項目が未実施又は未達成となりました。

各将来像の達成状況は、次のとおりとなりました。（資料編参照P33～）

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、

△：一部未実施又は一部未達成、×：未実施又は未達成

- ◆環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち（自然共生社会の構築）14項目：◎8項目、○3項目、△2項目、×1項目
- 3-3「特定外来生物駆除の推進」、8-4「生垣推奨事業の推進」など6項目について、目標を達成することはできませんでした。生活被害や農業被害をもたらす特定外来生物（アライグマ）については、捕獲頭数が増加しているため、情報収集と駆除対策を行う必要があります。

◆**環境の将来像Ⅱ** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善）：行動内容を設定しないため、評価なし。

○ 大気や水質、騒音の監視状況について、担当課で進行管理を実施しています。

◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成）7項目：◎6項目、△1項目

○ 19-2「コミュニティバスの利用増加」について、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、目標を達成できませんでした。これを踏まえ、行動内容を精査する必要があります。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築）8項目：◎3項目、○2項目、△3項目

○ 23-2「家庭系ごみの減量化」、など5項目について、目標を達成できませんでした。27-2「ツカエルフェアの開催」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としています。循環型社会の構築に向けて、啓発活動等を引き続き取り組む必要があります。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築）22項目：◎13項目、○3項目、△4項目、×2項目

○ 32-3「市役所の都市ガス使用量の削減」、33-4「市役所の水道使用量の削減」、48-3「事業者用太陽光発電設備設置補助金など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援」など9項目について、目標を達成できませんでした。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、目標を達成することが困難な項目は見直しが必要となっております。また、公共施設の省エネ策については、節電行動等では限界があることから、施設改修の検討を行う必要があります。

◆**環境の将来像Ⅵ** 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち（協働社会の構築）2項目：◎1項目、△1項目

○ 53-1「綾瀬市CSR経営表彰」については、目標を達成できませんでした。引き続き事業者等との協働を進めていきます。

4 今後の取組

「環境の将来像Ⅰ（自然共生社会の構築）」については、特に特定外来生物の情報収集や駆除対策を充実させる必要があります。

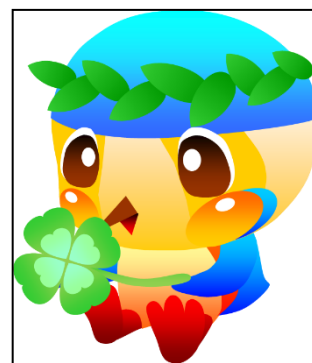
「環境の将来像Ⅱ（生活環境の保全・改善）」については、大気や水質等の継続的な現状調査や、騒音等の原因者への指導を実施していきます。

「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」については、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえたうえでコミュニティバスの利用促進を行う必要があります。

「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」については、循環型社会の構築に向けて、啓発活動等を引き続き取り組む必要があります。

「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、二酸化炭素の排出抑制に向け補助制度の周知を図るほか、公共施設の改修等を推進する必要があります。

「環境の将来像Ⅵ（協働社会の構築）」については、引き続き市民や事業者等との協働を進めていきます。



綾瀬市地球温暖化対策推進計画

(区域編)

- 平成27年度～令和5年度 -

**地球温暖化防止のために、
みんなで省エネや創エネを進めるまち**

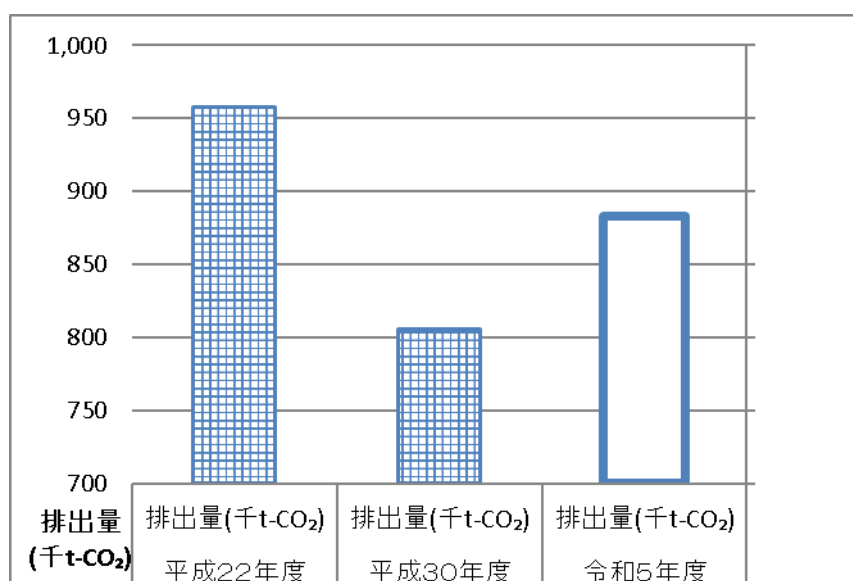
低炭素社会の構築を目指して

※綾瀬市域の二酸化炭素排出量削減計画

令和2年度までの取組結果

二酸化炭素排出状況

年度	平成22年度 (基準年度)	平成30年度	令和5年度 (目標年度)
	排出量(千t-CO ₂)	排出量(千t-CO ₂)	排出量(千t-CO ₂)
排出量	958	806	883
基準年度比 (%)	—	△ 15.9	△ 7.8



1 綾瀬市地球温暖化対策推進計画（平成27年度～令和5年度）の概要

本計画は、平成27年3月に策定し、本市区域の自然的条件に応じた温室効果ガスの排出削減のための施策を定め、地球温暖化対策を推進するものです。

◇綾瀬市地球温暖化対策推進計画の概要は以下のとおりです。

○**根拠法令** 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条

○**計画の目的** 第2次綾瀬市環境基本計画に掲げる低炭素社会の構築に向けた環境の将来像「地球温暖化防止のために、みんなで省エネ創エネを進めるまち」の実現を図る。

○**基準年度** 平成22年度

○**計画期間** 平成27年度～令和5年度

○**計画の位置づけ** 環境行政の方向性を定めた第2次綾瀬市環境基本計画（平成26年度～令和5年度）の分野別計画として、市民・事業者・市が一体となって取り組み、市域全体で施策を推進します。

○**対象温室効果ガス** 地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第3項に基づく、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(HFC)（パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(PFC)、六ふっ化硫黄(SF₆)、三ふっ化窒素(NF₃)は、対象外とする。) (地球温暖化対策の推進に関する法律(令和3年6月改正))

○**基準年度**（平成22年度）の二酸化炭素排出量 95万8千t

○**削減目標** 二酸化炭素排出量を令和5年度までに7万5千t（約8%）削減
（令和5年度二酸化炭素排出量目標：88万3千t）

2 温室効果ガス排出量の算出方法

本市区域の排出量は、環境省手引書に沿って国や県のデータから推計する簡易的な按分手法を用いて算出しています。データの制約上2年程度さかのぼって算出することとなるため、令和2年度取組結果のデータは、平成30年度排出量となります。

3 平成30年度の二酸化炭素の排出状況

本計画では、令和5（2023）年度の削減目標として、基準年度（平成22（2010）年）をベースに、二酸化炭素排出量を約7万5千トン（約△8%）削減し、88万3千トン以下にすることを目指しています。

本市区域の平成30年度の二酸化炭素排出量の推計結果は80万6千t-CO₂となり、基準年度（平成22年度）と比較すると、約15万2千t-CO₂、15.9%の減少となりました。

温室効果ガス排出量

(単位:千t-CO₂)

温室効果ガス種・部門など			基準年度 平成22年度 (2010年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	基準年比	
										増減量	増減率
二酸化炭素	エネルギー起源 (間接排出量)	産業部門									
		製造業	623	662	659	646	515	514	497	-126	-20.2%
		建設業・鉱業	10	9	8	9	8	8	5	-5	-50.0%
		農林水産業	2	2	1	1	1	1	6	4	200.0%
	小計	636	673	668	656	524	523	508	-128	-20.1%	
	家庭部門	98	125	114	97	103	93	92	-6	-6.1%	
	業務部門	93	121	130	124	111	95	81	-12	-12.9%	
	運輸部門	121	123	121	118	117	117	119	-2	-1.7%	
	小計	948	1042	1033	995	855	828	800	-148	-15.6%	
	非エネルギー起源(廃プラも焼却)	10	6	6	6	6	6	6	-4	-40.0%	
二酸化炭素(CO₂)排出量 計			958	1,048	1,039	1,001	861	834	806	-152	-15.9%
その他のガス(CH ₄ 、N ₂ O、HFC)計			4	4	4	5	5	5	4	0	0.0%
温室効果ガス 計			962	1,052	1,043	1,006	866	839	810	-152	-15.8%
人口(人)			83,167	83,828	83,990	84,460	84,427	84,139	84,229	1,062	1.3%
1人当たり二酸化炭素排出量(t-CO ₂ /人)			11.5	12.5	12.4	11.9	10.2	9.9	9.6	-	-
1人当たり温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /人)			11.6	12.5	12.4	11.9	10.3	10.0	9.6	-	-

※数値は四捨五入して千t-CO₂としておりますので、合計が合わないことがあります。

また、国全体での平成30年度の温室効果ガス排出量について、環境省では次のように考察しています。

- ・温室効果ガスの総排出量は、平成26年度以降5年連続で減少しており、排出量を算定している平成2年度以降で最少。また、実質GDP当たりの温室効果ガスの総排出量は、平成25年度以降6年連続で減少。
- ・前年度（平成29年度）と比べて二酸化炭素排出量が減少した要因としては、電力の低炭素化に伴う電力由来のCO₂排出量の減少や、エネルギー消費量の減少（省エネ、暖冬等）により、エネルギー起源のCO₂排出量が減少したこと等が挙げられる。¹

4 部門別の二酸化炭素の排出状況

本市域の二酸化炭素排出量の構成比は、産業部門63%、家庭部門11.4%、業務部門10%、運輸部門14.8%、廃棄物部門0.7%となりました。

基準年度と比較して二酸化炭素排出量はすべての部門で減少しています。

¹ 「2018年度（平成30年度）の温室効果ガス排出量（確報値）について」環境省HPより抜粋

部門別二酸化炭素排出量の変動

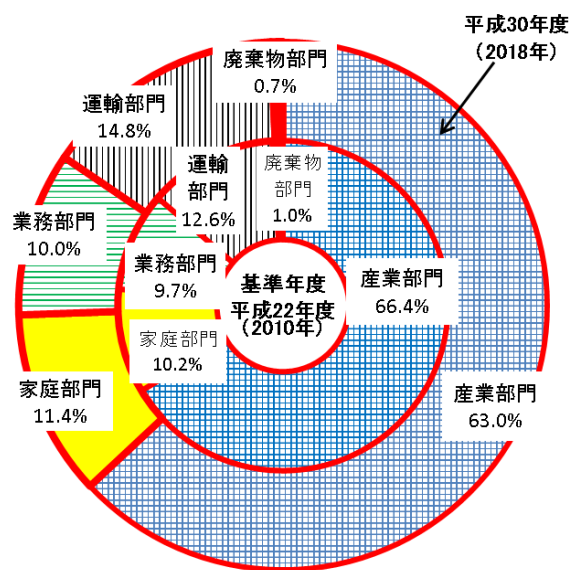
(単位:千t-CO₂)

部門	基準年度 平成22年度 (2010年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)		平成28年度 (2016年)		平成29年度 (2017年)		平成30年度 (2018年)		基準年比		目標年度 令和5年度 (2023年)	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	増減率	排出量	構成比
産業部門	636	66.4%	673	64.2%	668	64.3%	656	65.5%	524	60.9%	523	62.7%	508	63.0%	-128	-20.1%	611	69.2%
家庭部門	98	10.2%	125	11.9%	114	11.0%	97	9.7%	103	12.0%	93	11.2%	92	11.4%	-6	-6.1%	76	8.6%
業務部門	93	9.7%	121	11.5%	130	12.5%	124	12.4%	111	12.9%	95	11.4%	81	10.0%	-12	-12.9%	89	10.1%
運輸部門	121	12.6%	123	11.7%	121	11.6%	118	11.8%	117	13.6%	117	14.0%	119	14.8%	-2	-1.7%	99	11.2%
廃棄物部門	10	1.0%	6	0.6%	6	0.6%	6	0.6%	6	0.7%	6	0.7%	6	0.7%	-4	-40.0%	8	0.9%
合計	958	100.0%	1,048	100.0%	1,039	100.0%	1,001	100.0%	861	100.0%	834	100.0%	806	100.0%	-152	-15.9%	883	100.0%

●産業部門

電力消費量あたりの二酸化炭素排出量が改善したほか、工業統計に基づく製造品出荷額が、3,869億円(平成22年度)から3,657億円(平成30年度)と5.5%減少していることから、生産活動の減などが、二酸化炭素排出量減少の要因として考えられます。

部門別二酸化炭素排出量の変動



●家庭部門

電力消費量あたりの二酸化炭素排出量が改善したほか、家電製品の省エネルギー化などから、二酸化炭素排出量が減少したと考えられます。

●業務部門

電力消費量あたりの二酸化炭素排出量が改善したことにより、二酸化炭素排出量が減少したと考えられます。

●運輸部門

燃費の改善などにより二酸化炭素排出量は減少しました。

5 本市の取組状況

市では、市域からの二酸化炭素排出量を削減するため、平成17年度から環境保全対策補助事業を、平成18年度からあやせエコっと21を実施し、この2事業を中心に第2次綾瀬市環境基本計画を基に各種啓発事業に取り組んでいます。（啓発事業の取組結果については、「環境行動計画」及び「環境教育推進基本計画（アクションプラン）」参照）

環境保全対策補助事業については、本計画では、太陽光発電設備設置事業補助（再生可能エネルギーの導入）における二酸化炭素排出削減量を令和5年度2,980t-CO₂に設定しています。令和2年度の削減量は、2,857t-CO₂となり、計画目標達成率は95.9%となるとともに、令和2年度の目標2,490t-CO₂に対し、達成率は114.7%となりました。

再生可能エネルギーの導入	対象	対象数		設定	削減見込量 (t-CO ₂ /年)
		全対象数	計画での予定対象数		
(1) 市の太陽光発電設備設置等補助事業	現在の補助を継続			導入率 (%)	
1) 住宅用太陽光発電設備設置補助	住宅	H23→R5年度までの予定対象数	1,900 軒	100 %	2,770
2) 共同住宅用太陽光発電設備設置補助	共同住宅	H23→R5年度までの予定対象数	30 軒	100 %	50
3) 事業所用太陽光発電設備設置補助	事業所	H23→R5年度までの予定対象数	30 件	100 %	160
					2,980

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	削減目標	個人	1,331,666	1,606,176	1,752,192	1,898,208	2,044,224	2,190,240	2,336,256	2,482,272	2,628,288	2,770,000
		共同	7,301	10,951	16,427	21,902	27,378	32,854	38,329	43,805	49,280	50,000
		事業所	43,805	32,854	49,280	65,707	82,134	98,561	114,988	131,414	147,841	160,000
		計	1,382,772	1,649,981	1,817,899	1,985,818	2,153,736	2,321,654	2,489,573	2,657,491	2,825,410	2,980,000
	削減実績	個人	1,221,486	1,904,234	2,079,205	2,139,362	2,220,934	2,282,955	2,317,954			
		共同	8,016.28	15,766	18,640	18,118	17,708	22,122	21,602			
		事業所	39,734.60	54,969	532,145	541,997	537,482	529,561	517,114			
計	1,269,237	1,974,969	2,629,990	2,699,477	2,776,123	2,834,639	2,856,670	0	0	0		
達成率	91.8%	119.7%	144.7%	135.9%	128.9%	122.1%	114.7%					
5年度：目標達成率		42.6%	66.3%	88.3%	90.6%	93.2%	95.1%	95.9%				

全環境保全対策補助事業及びあやせエコっと21家庭編により、令和2年度では、3,393t-CO₂の二酸化炭素の削減効果があり、50年杉242,357本/年の植林効果（1本約14kg/年：関東森林管理局）に匹敵します。

また、人で試算すると1,825人分（2019年度：約1,859kg-CO₂/年：温室効果ガスインベントリオフィス）の二酸化炭素排出量となります。

なお、令和2年度の取組結果は次のとおりとなりました。

○ 二酸化炭素排出量の算定

二酸化炭素排出量の算定は、環境省が平成29年3月に策定した「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」に基づき行う。（東京電力エナジーパートナー㈱排出係数：0.457 kg-CO₂/kWh）

※令和3年8月1日現在で把握できる最新の排出係数を使用することとします。

※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。

（1）環境保全対策補助事業：太陽光発電設備の導入など地球温暖化対策に有効な機器の導入に対し、一部経費を助成することによって普及促進を図っています。この取組により、令和2年度では3,390.2 t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました。

○太陽光発電設備設置補助金（個人住宅・共同住宅・事業所用）

平成17年度から開始した個人住宅用補助は、令和2年度までに1,285件で5,072.11kW、平成25年度から開始した共同住宅用が7件で47.27kW及び事業所用が15件で1,131.54kW、合計6,250.92kWとなりました。年間では、6,250.92MWh（6,250.92kW×1,000kWh/年）の電力を生むことになり、2,856.7 t-CO₂（6,250.92kW×1,000kWh×0.457（東京電力エナジーパートナー㈱排出係数：0.457kg-CO₂/kWh））の二酸化炭素が削減できました。

○家庭用燃料電池（エネファーム）設置補助金（平成25年度から実施）

平成25年度から開始し、令和2年度までの累計は226台となり、300.6 t-CO₂〔226台×1,330kg-CO₂（1台当たりの年間削減量）〕の二酸化炭素が削減できました。

○電気自動車導入補助金（平成23年度から実施）

平成23年度から開始し、令和2年度までの累計は125台となり、1kWh（1ℓ）当たり10km、年平均10,000km走行すると想定した場合、年間、約232.9 t-CO₂〔（125台×10,000km÷10km/ℓ×2.32（ガソリン排出係数））-（125台×10,000km÷10km/kWh×0.457（東京電力エナジーパートナー㈱排出係数：0.457kg-CO₂/kWh））〕の二酸化炭素が削減できました。

○雨水貯留槽設置補助金（平成17年度から平成28年度まで実施）

平成17年度から開始し、平成28年度までの累計は117基となり、18,039ℓの節水効果となりました（平成28年度で制度終了）。

☆ 住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
17～26	912	3,346.17
27	98	424.59
28	83	387.65
29	57	243.57
30	54	273.67
元	40	202.46
2	41	194.00
合計	1,285	5,072.11

☆ 家庭用燃料電池設置状況

年度	台数
25	19
26	20
27	23
28	26
29	51
30	29
元	20
2	38
合計	226

☆ 共同住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24～26	4	21.96
27	1	9.26
28	1	6.06
元	1	9.99
合計	7	47.27

☆ 電気自動車導入状況

年度	台数
23～25	40
26	8
27	13
28	12
29	15
30	12
元	16
2	9
合計	125

☆ 事業所用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24～26	8	108.85
28	5	998.10
29	1	8.27
30	1	16.32
合計	15	1,131.54

☆ 雨水貯留槽設置状況

年度	件数 (件)	容量 (ℓ)
17～26	107	16,154
27	5	1,100
28	5	785
平成28年度で補助制度終了		
合計	117	18,039

(2) あやせエコっと21（家庭編）キャンペーン：家庭での節電など、環境に配慮した行動や取組を進めていくため、平成25年度から始まった市独自の普及・啓発活動です。前年同月比等で二酸化炭素排出量を抑制した場合に応募でき、抽選で旅行券やあやせ名産品などの賞品が当たるキャンペーンで、平成26年度からは、あやせ環境ネットワークと協働で実施しています。

令和2年度は、この取組（節電・家電製品買換え・再配達防止・LED電球交換）により、合計で約2.8t-CO₂の二酸化炭素排出量の抑制ができました。

○節電コース：

◇応募件数

期間中の使用量が昨年
同期より削減できた場合

年度	26	27	28	29	30	元	2
件数	497	280	248	214	120	187	58

に応募できます。二酸化炭素削減量：令和2年度は、58件、2,056kWhの削減。これに、電気の二酸化炭素係数0.457（東京電力エナジーパートナー(株)排出係数：0.457kg-CO₂/kWh）を乗じて、節電で約939.6kg-CO₂の二酸化炭素を削減することができました（推計）。

○家電製品買換えコース：

◇応募件数

エアコン、冷蔵庫、テレビを
消費電力が減少するもの買い

年度	27	28	29	30	元	2
件数	12	74	15	10	13	24

換えた場合に購入店に応じた口数の応募ができます。環境省の「しんきゅうさん：省エネ製品買換えナビゲーション」に基づく、二酸化炭素削減量は、約176.4kg-CO₂となりました（推計）。

○再配達防止コース：

◇応募件数

時間指定・受取場所指定等を実施した場合に応募
できます。再配達1回あたり0.46kg-CO₂を排出したと
すると、約42kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました（推計）

年度	元	2
件数	47	91

○LED電球交換コース：

◇応募件数

LED電球を購入した場合に購入店に応じた口数の応募が
できます。白熱電球（1日5～6時間点灯、108kWh/年）からLE
D電球（1日5～6時間点灯、15kWh/年）に交換し、使用した場合に約1,657.5kg-CO₂を削減できました。（推計）

年度	2
件数	39

※(108kWh-15kWh)×39件=3,627kWh削減

3,627kWh×0.457排出係数=1,657.5kg-CO₂

（東京電力エナジーパートナー(株)排出係数：0.457kg-CO₂/kWh）

○節水コース：平成28年度を最後に廃止。

○レジ袋削減コース：令和元年度を最後に廃止。

(3) あやせエコっと21（学童編）：市内在住の小学5年生を対象に、夏休み期間中の10日間、省エネ行動を実践することで省エネ意識の向上を図りました。参加児童数211人。

(4) あやせエコっと21（事業所編）：43項目の環境配慮行動から2項目以上に
取り組んだ事業所を「環境に配慮する事業所」として登録し、市HPで紹介する
ことにより事業者の環境配慮行動を促しました。

年度	18	19	20	21	22	24	25	26	29	30	元	合計
新規登録	1	8	14	1	3	5	5	10	2	1	1	51
51（累計登録件数）－3（辞退件数）＝48（令和2年度末件数）												

6 今後の取組

第2次綾瀬市環境基本計画に基づく「環境行動計画」により、低炭素社会の構築に向けた取組を推進しており、二酸化炭素排出量について基準年度（平成22年度）と比較し、産業部門、家庭部門、業務部門、運輸部門、廃棄物部門のすべてで減少しています。一方で国は2050年カーボンニュートラルを宣言し、脱炭素社会の実現に向け、地球温暖化対策推進法の改正や地球温暖化対策計画の改訂を行っていることから、脱炭素に向けた取組を強化する必要があります。

第3次

綾瀬市地球温暖化対策実行計画

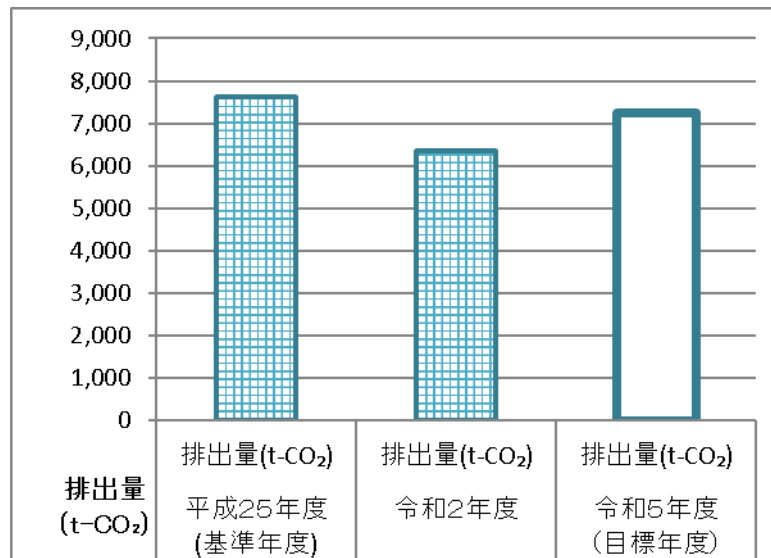
(事務事業編)

取組結果(令和2年度実績)

※市公共施設等の二酸化炭素排出量削減計画

二酸化炭素排出状況

年度	平成25年度 (基準年度)	令和2年度	令和5年度 (目標年度)
	排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)
排出量	7,624	6,345	7,253
基準年度比 (%)	—	△ 16.8	△ 4.9



1 第3次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（令和2年度～5年度）の概要

本計画は、第1次実行計画（平成22年度～26年度）及び第2次実行計画（平成27年度～令和元年度）を受け、第3次実行計画として令和2年3月に策定し、綾瀬市行政の全ての事務事業（公共施設等）から排出される温室効果ガスの削減に向けた各種取組を推進するものです。

◇第3次実行計画（事務事業編）の概要は以下のとおりです。

○**根拠法令** 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条

○**計画の目的** 温室効果ガスの排出量の削減目標の実現に向け各種取組を行い、地球温暖化対策の推進を図る。

○**基準年度** 平成25年度

○**計画期間** 令和2年度～5年度

○**目標年度** 令和5年度

○**計画の位置づけ** 綾瀬市環境基本条例の基本理念を基に、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げられた重点施策を踏まえるとともに、綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）の環境配慮プログラムの取組のうち、特に温室効果ガスの排出削減を推進する取組やその推進体制を生かしながら進める。

○**対象事務事業** 市長部局、消防、議会事務局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、教育委員会で行う全ての事務事業

○**対象温室効果ガス** 二酸化炭素〔他の温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素）は、対象外とする。〕

○**基準年度** 平成25年度の二酸化炭素排出量 7,624 t

○**削減目標** 二酸化炭素排出量を令和元年度までに、平成25年度比△4.9%

【温室効果ガス（二酸化炭素排出量）の削減目標】

	平成25年度 (2013年度)	令和5年度 (2023年度)	
	実績・基準値	目標値	削減目標
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	7,624	7,252	372
平成25年度比(%)	—	95.1	4.9

○ 温室効果ガス排出量の算定

温室効果ガス総排出量の算定は、環境省が平成29年3月に発行した「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」に基づき行う。※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。

2 令和2年度 of 取組状況 of 把握方法

綾瀬市が管理する公共施設で行う事務事業を対象としていることから、取組状況の把握は「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により、各施設管理主管課を通じて、電気、ガス、灯油などのエネルギーの使用量を集計し、二酸化炭素排出量を推計しました。

3 令和2年度 of 二酸化炭素 of 排出状況

本計画の削減目標は、令和5年度までに、平成25年度比4.9%削減としていますが、令和2年度の事務事業から排出された二酸化炭素の総量は、6,345 t-CO₂となり、基準年度（平成25年度）と比較すると、1,280 t-CO₂減少（16.8%減少）という結果になりました。

平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量	: 7,624 t
令和2年度の二酸化炭素排出量	: 6,345 t
基準年度に対する増減率	: △16.8%

【二酸化炭素の活動項目別排出状況】

活動項目		令和2年度（2020年度）				単位
		使用量	単位	排出係数	排出量	
電気の使用	東京電力(株)など	12,332,749	kWh	0.064~0.457	4,835,061	kg-CO ₂
燃料の使用	ガソリン	54,659	L	2.32	126,808	
	灯油	86,369		2.49	215,059	
	軽油	61,794		2.58	159,429	
	A重油	0		2.71	0	
	液化石油ガス（LPG）	2,116	m3	3.00	6,347	
	都市ガス（13A）	448,614		2.23	1,000,409	
	天然ガス（CNG）	633		2.22	1,405	
合 計					6,344,519	

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合があります。

※ガソリン、軽油、LPGは施設と公用車の排出量の合計となります。

※電気の排出係数は、電気事業者により異なります。

4 活動項目別の二酸化炭素排出状況の比較

基準年度（平成25年度）と、令和2年度の燃料等の使用量及び二酸化炭素排出量を比較すると、下表のとおりとなりました。（資料編参照P43～）

【燃料等種類別二酸化炭素排出状況の比較】

活動項目	燃料等の使用量		二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)				対基準年度増減率	種類別割合 令和2年度		
	単位	基準年度 平成25年度	令和2年度	基準年度(平成25年度)		令和2年度				
				排出係数	排出量	排出係数	排出量			
電気の使用	東京電力(株)	kWh	6,532,590	-	0.531	3,468,805	-	-	-12.2%	76.2%
	東京電力エナジーパートナー(株)		-	2,113,859	-	-	0.457	966,034		
	昭和シェル石油(株)		1,427,493	-	0.377	538,165	-	-		
	(株)エネット		3,547,870	1,914,203	0.423	1,500,749	0.391	748,453		
	(株)F-Power		-	3,594,675	0.491	-	0.448	1,610,414		
	リエスパワー(株)		-	306,177	0.445	-	0.445	136,249		
	ミツロギリネエネギー(株)		-	21,473	0.375	-	0.334	7,172		
	イーレックス(株)		-	884,199	0.500	-	0.385	340,417		
	丸紅新電力(株)		-	3,284,342	0.389	-	0.308	1,011,577		
	みんな電力(株)		-	183,522	-	-	0.064	11,745		
	ゼロワットパワー(株)		-	30,299	-	-	0.099	3,000		
小計		11,507,953	12,332,749	-	5,507,719	-	4,835,061			
燃料の使用	ガソリン	L	65,788	54,659	2.32	152,627	2.32	126,808	-16.9%	2.0%
	灯油		235,061	86,369	2.49	585,302	2.49	215,059	-63.3%	3.4%
	軽油		68,630	61,794	2.58	177,066	2.58	159,429	-10.0%	2.5%
	A重油		146,200	0	2.71	396,202	2.71	0	-100.0%	0.0%
	液化石油ガス(LPG)	m3	5,837	2,116	3.00	17,511	3.00	6,347	-63.8%	0.1%
	都市ガス(13A)		352,288	448,614	2.23	785,602	2.23	1,000,409	27.3%	15.8%
	天然ガス(CNG)		900	633	2.22	1,998	2.22	1,405	-29.7%	0.0%
	小計	-	-	-	-	2,116,308	-	1,509,458	-28.7%	23.8%
合計	-	-	-	-	7,624,027	-	6,344,519	-16.8%	100.0%	

※単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

※対基準年度増減率 = (令和2年度CO₂排出量 - 基準年度CO₂排出量) ÷ 基準年度CO₂排出量 × 100

※種類別割合 = 各燃料の令和2年度CO₂排出量 ÷ 令和2年度CO₂総排出量 × 100

電気について、公園灯及び道路照明灯をリース事業によりLED化しましたが、学校の空調設備を燃料式から電気式に変更したことなどにより、使用量は増加しました。一方、契約の切り替えなどで排出係数の少ない電気事業者から買電していることにより、二酸化炭素排出量は基準年度比12.2%減少しました。

燃料の使用による二酸化炭素排出量は、基準年度比28.7%減少させることができました。燃料の種類別に比較すると、学校の空調設備のほか、学校給食センター設備のエネルギー源転換などにより、排出量は基準年度比でA重油100%、液化石油ガス(LPG)63.8%、灯油は63.3%、それぞれ減少させることができました。

また、前述の学校給食センター設備のエネルギー源転換などに伴い、都市ガスの排出量が27.3%増加してしまいましたが、都市ガスはA重油よりも二酸化炭素係数が低いエネルギー源となっております。さらに、天然ガス(CNG)の排出量について、リサイクルプラザの車両からになります。平成29年度に1台を廃車としたほか、車の使用頻度の減により、29.7%減少しました。

5 今後の取組

令和2年度において、二酸化炭素排出量平成25年度（基準年度）比4.9%削減の目標を上回る16.8%の削減を達成しました。大きく目標を上回った要因としては、施設改修（公園灯及び道路照明灯のLED化）や契約の切り替えなどで排出係数の少ない電気事業者から買電していることのほか、新型コロナウイルス感染拡大の影響で公共施設が休館等になったことが挙げられます。

昨今は2050年カーボンニュートラル宣言など、社会全体における脱炭素に関する取り組みは加速度的に推進されています。令和4年度は、再生可能エネルギーの活用を見据え、公共施設等への太陽光発電設備の導入に向けた調査や電気自動車の導入など、本計画に留まらず脱炭素の取り組みを推進します。

あやせ環境教育推進基本計画

—平成27年度～令和5年度—

令和2年度 取組結果

1 あやせ環境教育推進基本計画—平成27年度～令和5年度—の概要

市では、「環境基本計画」の環境の将来像VI「環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち」の中の基本目標の一つに「環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます」と定めており、あらゆる機会を活用して、子どもから大人までを対象とした環境教育・環境学習を進めることとしています。

本計画は、「環境基本計画」を受け、「環境教育等による環境保全の取組の推進に関する法律」第8条に基づき、平成27年3月に策定し、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるために、各種取組を推進するものです。

◇ あやせ環境教育推進基本計画の概要は以下のとおりです。

- **計画の位置づけ** 「綾瀬市環境基本条例」第13条に基づき、環境教育及び学習の振興並びに啓発活動の充実を図るとともに、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げる、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるための計画とします。
- **対象期間** 平成27年度～令和5年度

2 令和2年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、**行動計画（アクションプラン）**として定めた49項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 令和2年度の取組結果

アクションプラン49項目のうち29項目を目標どおり実行しました。(資料編参照P48～54)

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、

△：一部未実施又は一部未達成、×：未実施又は未達成

◆ (1) 人材の育成と活用 4項目：◎1項目、△1項目、×2項目

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、No.3「環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施」について、△：一部未達成となりました。同様に、No.2「地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加」及びNo.4「学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣」について、×：未実施となりました。

◆ (2) プログラム等の整備と活用 6項目：◎4項目、○1項目、×1項目

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、No.8「プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供」について、×：未実施となりました。

◆ (3) 参加の場や機会づくり

37項目：◎22項目、○2項目、△4項目、×9項目

- No.42「エコっと21事業所編の参加促進60社以上」の実績は48社、No.45「カワセミ新聞の発行1回」の実績は代替措置として市広報紙での周知となり、2項目について○：ほぼ目標どおりとなりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4項目について△：一部未実施又は未達成、9項目について×：未実施となりました。

◆ (4) 情報提供と相談体制の整備 2項目：◎2項目

- すべての項目を達成することができました。引き続き情報提供と相談体制の整備を推進します。

4 今後の取組

令和2年度は、アクションプラン49項目中12項目が「未実施又は未達成」となりました。要因としては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントや講座などを実施しなかったことによります。コロナ禍で実施可能な実施手法を模索し、啓発活動を継続する必要があります。

また、市立小・中学校における行動計画についても、引き続き、推進する必要があります。

さらに、「綾瀬市環境学習プログラム集」の内容を定期的に更新し、情報提供することで、環境保全の取組へのきっかけづくりを推進する必要があります。



**あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを実践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～
令和2年度 環境指標結果**

環境の将来像 I	10指標
-----------------	------

○	5指標
△	4指標
×	1指標

※ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築)

基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
1	1	あやせ生物多様性行動指針の 策定と推進	平成27年度までに策 定 その後指針に基づいて 推進	推進	未策定 (平成29年度の環境施策 調整会議において策定しな いと決定)	×
2	2	長峰の森等生物生育・生息地の 指定	2箇所(R2)以上	2箇所(R2)以上	調整	○
3	3	生物多様性行動戦略に関する調 査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	○

基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします【市民】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
4	4	緑被率	33.7%(R2) を維持	33.7%(R2) を維持	37.11%(H27)	○
5	5	緑地の確保	434.3ha(R2) 以上	434.3ha(R2) 以上	408.5ha	△

基本目標 ③ カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります【市民】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
6	6	湧水の整備箇所	1箇所	1箇所	調整	△
7	7	水辺環境の整備への満足度	50%(R2)以上	50%(R2)以上	55.0%	○

基本目標 ④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます【農地】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
8	8	農用地面積	132ha(R2) の維持	132ha(R2) の維持	148ha	○
9	9	市内農業体験農園利用者数	300人(R2) 以上	300人(R2) 以上	238人	△
10	10	食育に関心のある人の割合	70%(R2)以上	70%(R2)以上	63.5%(H30)	△

環境の将来像 II	9指標
------------------	-----

○	8指標
△	1指標
×	0指標

※ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち(生活環境の保全・改善)

基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします【大気】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
11	1	大気の汚染に係る環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	光化学オキシダントを除く 各項目とも環境基準値以 内	調査実施	○
12	2	有害大気汚染物質に係る 環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも環境基準値 以内	調査実施	○
13	3	ダイオキシン類に係る 環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも環境基準値 以内	調査実施	○

基本目標 ② ささまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります【河川】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
14	4	河川水質の環境基準 (生活環境項目)	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも概ね環境基 準値以内	調査実施	○
15	5	地下水の水質汚濁に係る 環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも環境基準値 以内	調査実施	○
16	6	ダイオキシン類に係る 環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも環境基準値 以内	調査実施	○
17	7	生活排水処理率	98.6%(R3) 以上	98.5%	98.3%	△

基本目標 ③ 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします【騒音】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
18	8	航空機騒音に係る環境基準	環境基準の達成	環境基準値以内	調査実施	○
19	9	騒音に係る環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	環境基準値以内	調査実施	○

環境の将来像Ⅲ	11指標
----------------	------

○	5指標
△	6指標
×	0指標

※歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち(文化・都市環境の形成)

基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます【文化財】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
20	1	市内指定文化財件数	15件(R2)以上	15件(R2)以上	15件	○
21	2	文化財保護啓発事業の開催数	5事業	5事業	10事業	○

基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります【景観】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
22	3	市民一人当たりの公園面積	8.1㎡(R2)以上	8.1㎡(R2)以上	6.84㎡	△
23	4	市内の緑と公園に満足している 市民の割合	52%(R2)以上	52%(R2)以上	56.6%	○

基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します【交通】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価	
24	5	公共交通機関(バス) 利用満足度	50%(R2)以上	50%(R2)以上	46.5% (H30)	△
25	6	路線バス利用者数	12,700千人(R2)以上	12,700千人(R2)以上	11,068千人 (R01)	△

基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます【防災】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価	
26	7	緑地の確保【基本目標 I -2】	434.3ha(R2) 以上	434.3ha(R2) 以上	408.5ha	△
27	8	農用地面積【基本目標 I -4】	132ha(R2) の維持	132ha(R2) の維持	148ha	○

基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします【不法投棄】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価	
28	9	まち美化マナー宣言登録者数	累計2,000人(R2)以上	累計2,000人(R2)以上	1,153人	△
29	10	環境衛生対策の満足度	80%(R2)以上	80%(R2)以上	63.6%	○
30	11	ポイ捨て等投棄防止パトロール 用ビブスの貸与	累計7件	累計4件	累計2件	△

環境の将来像Ⅳ	5指標	○	0指標
		△	5指標
		×	0指標

ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち(循環型社会の構築)

基本目標 ① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します【ごみ】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価	
31	1	市民1人1日あたりの家庭からの ごみ排出量	662g/人・日(R3)以下	666g/人・日 以下	673g/人・日	△
32	2	事業系ごみの減量化(排出量)	2,562t(R3) 以下	2,698t 以下	3,671t	△
33	3	焼却処理されるごみ量	15,000t(R3) 以下	15,781t 以下	18,586t	△
34	4	市民1人1日あたりの家庭可燃ご み量	400g/人・日(R1)以下	400g/人・日(R1)以下	486g/人・日	△

基本目標 ② 資源を大切に、再利用や再生利用を進めます【リサイクル等】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価	
35	5	リサイクル率	40%(R3)以上	39.2%以上	28.2% (R1)	△

環境の将来像Ⅴ	2指標	○	2指標
		△	0指標
		×	0指標

※地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち(低炭素社会の構築)

基本目標 ① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます【省エネ】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
36	1 地球にやさしい生活を実践している市民の割合	75%(R2)以上	75%(R2)以上	76.2% (H28)	○

基本目標 ② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます【創エネ】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
37	2 補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力	4,300kW 以上	2,600kW 以上	・令和2年度:194kW ・累計:5072.11kW	○

環境の将来像VI	7指標	○	5指標
		△	2指標
		×	0指標

※環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち(協働社会の構築)

基本目標 ① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます【育成】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
38	1 (仮称)あやせ環境教育推進基本計画の策定と推進	平成26年度策定 その後計画に基づき推進	推進	推進	○
39	2 環境学習プログラム集の活用	累計7件	累計3件	累計3件	○
40	3 あやせエコっと21学童編(応募者数)	累計1,000人 以上	累計600人	累計739人	○

基本目標 ② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます【4者】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
41	4 あやせエコっと21家庭編(応募家庭数)	1,000家庭以上	840家庭以上	・節電:58世帯 ・LED電球交換:39世帯 ・家電買換え:24世帯 ・再配達防止:91世帯 計212世帯	△

基本目標 ③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます【事業者】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
42	5 あやせエコっと21事業所(登録事業所)※	100事業所	93事業所	累計:48事業所	△

基本目標 ④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます【情報】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	評価
43	6 環境報告書の発行	年1回	年1回	1月に発行	○
44	7 環境情報の発行	年1回	年1回	8月に発行	○

※行動計画、教育計画で目標値を見直しています。

【 資料編 】

(2) 第3期綾瀬市環境行動計画

環境の将来像 I					総合評価	
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち (自然共生社会の構築)						
※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」						
総合評価は、◎8項目、○3項目、△2項目、×1項目となりました。 未達成となったNo.8-4「生垣奨励事業の推進」について、引き続き周知を図る必要があります。					◎	8
					○	3
					△	2
					×	1
基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます					評価	
全4項目のうち、◎2項目、○1項目、△1項目となりました。					◎	2
					○	1
					△	1
					×	0
行動内容	元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績	評価		
方針(1)綾瀬の生物を知る、生物多様性を守り、育む						
1	1	生物多様性行動戦略策定 に向けた調査の実施	調査実施	R01：県計画の情報収集 R02：県計画の情報収集	◎	
			◎	◎		
方針(2)カワセミやホタルなど綾瀬に生育・生息する生物を調べ、健全な生態系を育む						
2	2	生物の生育・生息状況調査	1回以上	R01：ほたる鑑賞会(6月) R02：新型コロナウイルス感染拡大のため 未実施	○	
			◎	×		
3	3	特定外来生物駆除の推進	アライグマ捕獲頭数 年120頭以上	R01：90頭 R02：92頭	△	
			△	△		
方針(3)都市に隣接した良好な里地里山の良好な生物生息環境を育み、つなぐ						
4	4	目久尻川の多自然型護岸 整備及びビオトープを念 頭においた公園整備	保全及び指定準備	R01：ビオトープを念頭においた公園整備 内容の情報収集を行った R02：ビオトープを念頭においた公園整備 内容の情報収集を行った	◎	
			◎	◎		
基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします					評価	
全4項目のうち、◎2項目、○1項目、×1項目となりました。 No.8-4「生垣奨励事業の推進」について、周知に努めましたが、事業実施には至りませんでした。					◎	2
					○	1
					△	0
					×	1
行動内容	元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績	評価		
方針(2)水辺の斜面林など里地里山環境を保全・再生する						
5	1	里山再生と持続可能な森 づくり	緑地保全を累計 3か 所 以上指定	R01：取内の森、長峰の森、落合キツツキ の森など計9か所 R02：取内の森、長峰の森、落合キツツキ の森など計9か所	◎	
			◎	◎		

方針(3) 身近な緑をつくり、育てる						
6	2	緑地及び樹木の管理のための補助	43箇所 ◎	44箇所 ○	R01 : 43箇所 R02 : 42箇所 ◎	
7	3	緑地保全地区の確保	117,310㎡ ○ ○		R01 : 116,733㎡ R02 : 113,746㎡ ○	
8	4	生垣推奨事業の推進	1人以上 × ×		R01 : 申請0件 R02 : 申請0件 ×	
基本目標③ カワセミなどが飛来し、ホテルが飛ぶ水に親しめる場をつくります					評価	
行動内容は設定しないが環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。						
基本目標④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます					評価	
全6項目のうち、◎4項目、○1項目、△1項目となりました。					◎	4
					○	1
					△	1
					×	0
行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績		評価
方針(1) 農地を保全し、農地の環境保全機能を向上する						
9	1	若手農業者、新規就農者の確保	1人以上 ◎ ◎		R01 : 1人 R02 : 1人 ◎	
10	2	農業ボランティア活動の推進	年1回以上 (延べ320人) ◎ ◎		R01 : 援農ボランティア養成講座 (月2回、 延べ408人) R02 : 援農ボランティア派遣 (援農派遣 延べ405人) ◎	
11	3	農用地利用集積制度の活用	利用斡旋40件以上 ◎ ◎		R01 : 66件 R02 : 90件 ◎	
方針(2) 土と農と食とのふれあいを高める						
12	4	農地を通じた緑とふれあい場としての収穫祭の開催	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上) ○ ×		R01 : 収穫祭の実施への支援 (約23,000 人、3事業者) R02 : 新型コロナウイルスの感染拡大防止 のため中止 △	

13	5	学校給食への市内農畜産物の供給	20%以上 (品数)		R01: 12% R02: 50%	○
			△	◎		
14	6	市民ふれあい農園の整備	6箇所以上の維持		R01: 市内6箇所のふれあい農園を整備、維持運営 R02: 市内6箇所のふれあい農園を整備、維持運営	◎
			◎	◎		
環境の将来像Ⅱ						総合評価
生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち (生活環境の保全・改善) <small>※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%~」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>						
行動内容を設定しないため、評価なし。						
基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします						評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						
基本目標 ② さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります						評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						
基本目標 ③ 航空騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住みよいまちにします						評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						
環境の将来像Ⅲ						総合評価
歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち (文化・都市環境の形成) <small>※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%~」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>						
総合評価は、◎6項目、△1項目となりました。						◎ 6 ○ 0 △ 1 × 0
基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます						評価
全1項目のうち、◎1項目となりました。						◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績		評価
方針(2) 綾瀬の歴史・文化とふれあい、知る						
15	1	癒しの音風景の検討・発見	研究		R01: 先進自治体取組例の調査研究 R02: 先進自治体取組例の調査研究	◎
			◎	◎		
基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります						評価
全2項目のうち、◎2項目となりました。						◎ 2 ○ 0 △ 0 × 0

行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績	評価	
方針(2) 良好な街並みをつくる						
16	1	違反屋外広告物除却活動の実施	年1回以上	R01: 違反屋外広告物除却キャンペーン(9月) R02: 違反屋外広告物除却キャンペーン(9月)	◎	
			◎	◎		
17	2	景観形成重点地区の指定に向けた事業の実施	年1回以上	R01: 綾瀬市景観審議会(8月、1月) R02: 綾瀬市景観審議会(5月、10月)	◎	
			◎	◎		
基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します					評価	
全4項目のうち、◎3項目、△1項目となりました。					◎	3
					○	0
					△	1
					×	0
行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績	評価	
方針(2) 環境にやさしい交通利用をすすめる						
18	1	バスの乗り換え拠点の整備	駐輪場1か所	R01: 駐輪場の環境整備(放置自転車撤去等)を実施 R02: 駐輪場の環境整備(放置自転車撤去等)を実施	◎	
			◎	◎		
19	2	コミュニティバスの利用増加(H24年度比) (H24年度利用者数: 173,895人)	7%増	R01: 約3.7%増(180,348人) R02: 約25.7%減(129,174人)	△	
			△	×		
方針(3) 安全で環境負荷の少ない道をつくる						
20	3	市道のバリアフリー化	2路線	R01: 並塚笹山線、東山線、市道343号線工事完了 R02: 市道325号線工事完了	◎	
			◎	◎		
21	4	自転車・歩行者道の整備	350m	R01: 並塚笹山線242m、東山線273m工事完了 R02: 市道325号線213m工事完了	◎	
			◎	◎		
基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます					評価	
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。						
基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします					評価	
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						

環境の将来像Ⅳ					総合評価	
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち (循環型社会の構築)						
※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」						
総合評価は、◎3項目、○2項目、△3項目となりました。					◎	3
					○	2
					△	3
					×	0
基本目標① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します					評価	
全4項目のうち、◎2項目、○1項目、△1項目となりました。					◎	2
					○	1
					△	1
					×	0
行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績		評価
方針(1) ごみの発生抑制と減量化を進める						
22	1	生ごみ処理容器購入費助成	年30基以上		R01：41基 R02：80基	◎
			◎	◎		
23	2	家庭系ごみの減量化	3%削減		R01：0.14%削減 R02：2.36%増	△
			△	△		
24	3	マイバック等の持参啓発	年1回以上 (1団体以上) (50人以上)		R01：166人、494口(エコっと21家庭編) レジ袋削減推進店：26店 R02：レジ袋有料化により、一定の役割を 果たしたことから廃止	○
			◎	×		
方針(2) 廃棄物の適正処理を進める						
25	4	中間処理施設での搬入物 検査、環境測定の実施	年1回以上		R01：高座清掃施設組合ダイオキシン立会 い、搬入物検査立会 R02：高座清掃施設組合ダイオキシン立会 い、搬入物検査立会	◎
			◎	◎		
基本目標② 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます					評価	
全4項目のうち、◎1項目、○1項目、△2項目となりました。					◎	1
					○	1
					△	2
					×	0
行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績		評価
方針(1) 循環型社会の構築を進める						
26	1	リサイクルプラザの循環 型社会構築に向けた拠点 としての活用と活性化	事業2回以上	事業3回以上	R01：30回 R02：新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止	○
			◎	×		

方針(2) 資源の再使用・再生利用を進める						
27	2	ツカエルフェアの開催	年2回以上		R01：1回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回中止） R02：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	△
			△	×		
28	3	ごみのリサイクル（本庁舎）	80%以上		R01：80% R02：83%	◎
			◎	◎		
29	4	木製家具のRPF化	150 t		R01：約66 t R02：約64 t	△
			△	△		

環境の将来像V

地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち
（低炭素社会の構築）

※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」

総合評価

総合評価は、◎13項目、○3項目、△4項目、×2項目となりました。
未達成となったNo. 48-3「事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援」について、引き続き、補助事業の周知を行う必要があります。

◎	13
○	3
△	4
×	2

基本目標① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます

評価

全16項目のうち、◎10項目、○2項目、△3項目、×1項目となりました。
No. 33-4「市役所の水道使用量の削減(平成25年度比)」について、「未達成」となりました。節水等に努めていますが、衛生面の観点からも達成は難しいと考えられます。

◎	10
○	2
△	3
×	1

行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績	評価	
方針(2) 省エネを進める						
30	1	電気自動車の導入補助	10件以上		R01：16件 R02：9件	○
			◎	○		
31	2	市役所の電気使用量の削減 (平成25年度比)	2%削減		(H25：1,427,493kWh) R01：1,378,885kWh(約3%減) R02：1,441,619kWh(約1%増)	◎
			◎	◎		
32	3	市役所の都市ガス使用量の削減 (平成25年度比)	40%削減		(H25：116,784m ³) R01：86,597m ³ (約26%削減) R02：106,409m ³ (約9%削減)	△
			△	△		
33	4	市役所の水道使用量の削減 (平成25年度比)	2%削減		(H25：3,984m ³) R01：6,600m ³ (約66%増) R02：6,037m ³ (約52%増)	×
			×	×		

34	5	あやせエコっと21（事業編）への参加促進 ※	60事業所以上	70事業所以上	R01：48事業所 R02：48事業所	△
			○	△		
35	6	事業所が取り組む省エネ活動の紹介	1事業所	累計2事業所以上	R01：エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載 R02：エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載	◎
			◎	◎		
36	7	市民・事業所でのクリーンエネルギーカーや燃費基準適合車の導入促進（電気自動車導入補助）	導入補助10件以上		R01：16件 R02：9件	○
			◎	○		

方針(3) 低炭素型都市づくりを進める

37	8	目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備	目久尻川親水公園の用地買取		H28：詳細設計・検討会を実施。用地については5回交渉を行なったが、地権者の同意を得られず。 H29：地権者と調整（4回） H30：地権者と調整（1回） R01：引き続き交渉に向け準備 R02：引き続き交渉に向け準備	△
			△	△		
38	9	街灯・道路照明のLED化の推進	累計50基以上		R01：24基 R02：740基 （リースにより、全道路照明灯をLED化） 累計：889基	◎
			◎	◎		
39	10	歩道など歩行者空間の整備	累計3路線以上		R01：並塚笹山線・東山線・市道325号線工事完了 R02：市道325、並塚笹山線の歩道の整備を行ったが、路線全体としては整備途中。	◎
			◎	◎		
40	11	自転車走行ゾーンの検討と整備	累計3路線以上		H28：市道1号線（工事完了） H29：市道116号線（工事完了） R01：市道20号線（工事完了）	◎
			◎	◎		
41	12	透水性舗装の促進	200m		H30：市道343号線（200m） R02：市道325号線（213m）	◎
			◎	◎		

方針(4) 蓄エネなどによるエネルギーの有効利用を進める

42	13	スマートエネルギー設備導入補助	60件以上	70件以上	R01：76件 R02：103件	◎
			◎	◎		
43	14	事業所における省エネ診断などの促進	累計2事業所以上	累計3事業所以上	H28：さがみ野工業団地協同組合対象省エネ講座（11月）（10社） H29：商工会対象省エネ講座（3月）（8社） H30：実績なし R01：広報あやせで周知を実施（EMS） R02：広報あやせで周知を実施（EMS）	◎
			◎	◎		

44	15	事業所におけるEMS(エネルギーマネジメントシステム)導入の普及・支援	啓発年1回以上		R01: 事業所のEMS導入促進を掲載(6/1号広報)、エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載 R02: 事業所のEMS導入促進を掲載(6/1号広報)、エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載	◎	
			◎	◎			
45	16	事業活動温暖化対策計画届出制度の普及	啓発年1回以上		R01: 広報あやせで周知を実施 R02: 広報あやせで周知を実施	◎	
			◎	◎			
基本目標② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます						評価	
全6項目のうち、◎3項目、○1項目、△1項目、×1項目となりました。 No. 48-3「事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援」について、「未達成」となりました。引き続き、補助事業の周知を行う必要があります。						◎	3
						○	1
						△	1
						×	1
行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績		評価	
方針(1) 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める							
46	1	住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成50件以上		R01: 40件 R02: 41件	○	
			○	○			
47	2	共同住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上		R01: 1件 R02: 0件	△	
			◎	×			
48	3	事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上		R01: 0件 R02: 0件	×	
			×	×			
49	4	公園でのハイブリッド照明灯等の導入	2基以上		R01: LED照明灯を10基導入 R02: リース事業によりLED化達成	◎	
			◎	◎			
50	5	風力など未利用エネルギーに関する情報の収集と提供	情報収集		R01: 県からの通知等により、未利用エネルギーに関する情報収集 R02: 情報収集を実施	◎	
			◎	◎			

51	6	事業所での未利用エネルギー活用の検討	情報収集		R01：県からの通知等により、再生可能エネルギーに関する情報収集 R02：情報収集を実施	◎
			◎	◎		
環境の将来像VI 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち (協働社会の構築) <small>※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>						総合評価
総合評価は、◎1項目、△1項目となりました。						◎ 1 ○ 0 △ 1 × 0
基本目標① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます						評価
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。						
基本目標② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます						評価
全1項目のうち、◎1項目となりました。						◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績		評価
方針(3) 環境交流（環境イベントの実施などによる交流）と連携を深め、協働を進める						
52	1	環境学習拠点としての活用	事業実施 年4回以上		R01：27回 R02：6回	◎
			◎	◎		
基本目標③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます						評価
全1項目のうち、△1項目となりました。						◎ 0 ○ 0 △ 1 × 0
行動内容		元年度目標 /評価	2年度目標 /評価	取組実績		評価
方針(2) 事業活動における環境対策を進める						
53	1	綾瀬市CSR経営表彰	年1社以上		R01：公募の結果により、応募事業所なし R02：公募の結果により、応募事業所なし	△
			△	△		
基本目標④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます						評価
環境教育推進基本計画アクションプランにより進行管理を実施。						

※環境指標から目標値を見直しています。

(空ページ)

【資料編】(3)第3次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

資料 削減計画内訳達成度

施設名	2年度二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)								2年度 排出量	25年度 基準年度 排出量	25→2年度比較	
	A重油	灯油	都市 ガス	ガソ リン	軽油	LP ガス	天然 ガス	電力			増減率 %	増減量 kg-CO ₂
本庁舎(公共資産課)	0	0	237,292	0	0	0	0	645,845	883,137	798,593	11%	84,544
綾北福祉会館(福祉総務課)	0	0	14,589	0	0	0	0	9,902	24,490	23,436	4.5%	1,054
もみの木園(障がい福祉課)	0	0	0	0	0	1,107	0	13,259	14,366	23,085	-37.8%	-8,719
本蓼川墓園(高齢介護課)	0	0	0	0	0	0	0	2,323	2,323	3,300	-29.6%	-977
大上保育園(保育課)	0	0	26,203	0	0	0	0	35,314	61,516	49,406	24.5%	12,110
綾南保育園(保育課)	0	0	25,235	0	0	0	0	23,754	48,989	50,235	-2.5%	-1,246
旧保健医療センター	0	0	0	0	0	0	0	7,172	7,172	54,013	-86.7%	-46,841
寺尾児童館(子ども未来課)	0	0	0	0	0	12	0	3,018	3,030	3,731	-18.8%	-700
小園児童館(子ども未来課)	0	0	0	0	0	39	0	4,690	4,729	2,127	122.3%	2,602
ながづつ児童館(子ども未来課)	0	0	2,901	0	0	0	0	6,735	9,636	6,226	54.8%	3,410
リサイクルプラザ	0	0	50,518	0	0	0	0	45,741	96,259	111,152	-13.4%	-14,893
市内公園(みどり公園課)	0	0	0	186	0	0	0	133,918	134,104	170,269	-21.2%	-36,165
道路照明灯(道路管理課)	0	0	0	0	0	0	0	505,566	505,566	659,201	-23.3%	-153,635
道路補修(道路管理課)	0	0	0	0	0	72	0	0	72	767	-90.6%	-695
浄水管理センター(下水道課)	0	0	0	0	0	204	0	960,328	960,532	1,537,470	-37.5%	-576,938
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	51,249	51,249	84,917	-39.6%	-33,668
マンホールポンプ(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	35,134	35,134	38,853	-9.6%	-3,719
流量計2基(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	22	22	25	-13.9%	-4
消防本部(消防総務課)	0	0	5,203	0	0	0	0	96,611	101,813	81,994	24.2%	19,819
消防北分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,322	0	26,540	28,862	21,733	32.8%	7,129
消防南分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,151	0	34,791	36,942	43,116	-14.3%	-6,173
中央分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,059	1,059	1,232	-14.0%	-173
綾北分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,010	1,010	1,493	-32.3%	-482
寺尾分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,030	1,030	1,176	-12.4%	-146
早園分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	802	802	1,095	-26.7%	-293
綾西分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,424	1,424	1,297	9.7%	126
綾南分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	9	0	840	849	1,389	-38.9%	-540
綾瀬小学校	0	0	68,628	46	0	0	0	143,271	211,946	118,574	78.7%	93,372
綾北小学校	0	862	0	158	0	6	0	95,384	96,410	62,757	53.6%	33,653
綾西小学校	0	426	80,425	46	0	42	0	92,099	173,039	112,918	53.2%	60,120
早園小学校	0	433	7	46	0	0	0	76,765	77,252	52,935	45.9%	24,317
綾南小学校	0	508	4	109	0	0	0	82,084	82,705	58,637	41.0%	24,068
天台小学校	0	0	29	46	0	0	0	105,237	105,312	57,800	82.2%	47,512
北の台小学校	0	403	0	153	0	15	0	95,324	95,895	152,139	-37.0%	-56,244
落合小学校	0	199	0	93	0	33	0	91,568	91,893	108,848	-15.6%	-16,955
土棚小学校	0	747	36	151	0	0	0	91,238	92,171	112,544	-18.1%	-20,372
寺尾小学校	0	103,644	0	70	0	48	0	77,291	181,053	119,919	51.0%	61,133
綾瀬中学校	0	103,340	0	137	0	96	0	101,514	205,087	158,650	29.3%	46,437
綾北中学校	0	782	0	162	0	48	0	151,639	152,631	229,196	-33.4%	-76,564
城山中学校	0	588	0	92	0	24	0	112,912	113,616	181,165	-37.3%	-67,549
北の台中学校	0	1,494	0	209	0	88	0	104,255	106,045	178,666	-40.6%	-72,621
春日台中学校	0	1,444	0	220	0	27	0	113,511	115,203	135,470	-15.0%	-20,267
学校給食センター	0	0	265,546	0	0	0	0	136,233	401,779	565,573	-29.0%	-163,794
教育支援教室(教育研究所)	0	0	0	0	0	0	0	2,722	2,722	2,722	0.0%	0
文化財収蔵庫(生涯学習課)	0	189	0	0	0	0	0	2,026	2,216	2,732	-18.9%	-516
市民スポーツセンター(スポーツ課)	0	0	48,596	0	0	0	0	136,249	184,845	359,020	-48.5%	-174,175
市民文化センター(文・中・図・高福祉含む)	0	0	92,931	0	0	0	0	236,907	329,838	509,667	-35.3%	-179,829
中村地区センター	0	0	0	0	0	0	0	12,155	12,155	18,429	-34.0%	-6,274
早園地区センター	0	0	0	0	0	0	0	4,632	4,632	5,462	-15.2%	-830
吉岡地区センター	0	0	0	0	0	0	0	4,810	4,810	9,946	-51.6%	-5,136
綾南地区センター	0	0	0	0	0	0	0	18,630	18,630	31,940	-41.7%	-13,310
北の台地区センター	0	0	0	0	0	0	0	16,997	16,997	29,621	-42.6%	-12,624
寺尾いずみ会館	0	0	47,437	0	0	0	0	34,086	81,523	73,947	10.2%	7,575
南部ふれあい会館	0	0	34,583	0	0	0	0	28,986	63,569	74,040	-14.1%	-10,471
神崎遺跡資料館	0	0	0	0	0	0	0	4,941	4,941	-	皆増	4,941
綾西高齢者憩いの家	0	0	0	0	0	0	0	1,770	1,770	-	皆増	1,770
保健福祉プラザ	0	0	248	0	0	0	0	11,745	11,993	-	皆増	11,993
公共資産課管理公用車	0	0	0	64,162	960	0	0	0	65,122	99,243	-34.4%	-34,121
リサイクルプラザ管理公用車	0	0	0	5,009	115,863	5	1,405	0	122,281	131,021	-6.7%	-8,740
道路管理課管理公用車	0	0	0	3,496	7,913	0	0	0	11,409	17,721	-35.6%	-6,311
消防総務課管理公用車	0	0	0	52,216	34,693	0	0	0	86,910	81,394	6.8%	5,515
合計	0	215,059	1,000,409	126,808	159,429	6,347	1,405	4,835,061	6,344,519	7,624,027	-16.8%	-1,279,508

※・小数点以下は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

平成25年度比・令和5年度増減率(削減目標)	-4.9%
令和5年度総排出量(目標値)	7,252,729

参考資料

活動項目別・施設別使用量及び二酸化炭素排出量

※ 単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

【ガソリン】

二酸化炭素排出係数：2.32

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課)	379	80	-299	880	186	-694	-78.9%
小学校10校	322	396	74	748	919	171	22.9%
中学校5校	181	354	173	419	821	401	95.7%
公用車	64,905	53,829	-11,076	150,580	124,883	-25,697	-17.1%
合計	65,788	54,659	-11,129	152,627	126,808	-25,819	-16.9%

【灯油】

二酸化炭素排出係数：2.49

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
小園児童館 (こども未来課)	40	0	-40	100	0	-100	-100.0%
リサイクルプラザ	243	0	-243	605	0	-605	-100.0%
小学校10校	86,553	43,061	-43,492	215,517	107,222	-108,295	-50.2%
中学校5校	141,814	43,232	-98,582	353,117	107,648	-245,469	-69.5%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	90	76	-14	224	189	-35	-15.6%
地区センター2館	6,321	0	-6,321	15,739	0	-15,739	-100.0%
合計	235,061	86,369	-148,692	585,302	215,059	-370,243	-63.3%

【都市ガス】

二酸化炭素排出係数：2.23

施設名	使用量 (m ³)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
本庁舎 (公共資産課)	116,784	106,409	-10,375	260,428	237,292	-23,136	-8.9%
綾北福祉会館 (福祉総務課)	4,744	6,542	1,798	10,579	14,589	4,010	37.9%
大上保育園 (保育課)	8,916	11,750	2,834	19,883	26,203	6,320	31.8%
綾南保育園 (保育課)	10,293	11,316	1,023	22,953	25,235	2,281	9.9%
ながぐつ児童館 (こども未来課)	285	1,301	1,016	636	2,901	2,266	356.5%
リサイクルプラザ	22,040	22,654	614	49,149	50,518	1,369	2.8%
消防本部 (消防総務課)	-	2,333	2,333	-	5,203	5,203	皆増
小学校6校	47,733	66,874	19,141	106,445	149,129	42,684	40.1%
学校給食センター	-	119,079	119,079	-	265,546	265,546	皆増
市民スポーツセンター (スポーツ課)	35,138	21,792	-13,346	78,358	48,596	-29,762	-38.0%
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	77,290	41,673	-35,617	172,357	92,931	-79,426	-46.1%
寺尾いずみ会館	15,281	21,272	5,991	34,077	47,437	13,360	39.2%
南部ふれあい会館	13,784	15,508	1,724	30,738	34,583	3,845	12.5%
保健福祉プラザ	-	111	111	-	248	248	皆増
合計	352,288	448,614	96,326	785,602	1,000,409	214,807	27.3%

【軽油】

二酸化炭素排出係数：2.58

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課)	119	0	-119	307	0	-307	-100.0%
公用車	68,511	61,794	-6,717	176,759	159,429	-17,330	-9.8%
合計	68,630	61,794	-6,836	177,066	159,429	-17,637	-10.0%

【A重油】

二酸化炭素排出係数：2.71

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
道路補修 (道路管理課)	200	0	-200	542	0	-542	-100.0%
学校給食センター	146,000	0	-146,000	395,660	0	-395,660	-100.0%
合計	146,200	0	-146,200	396,202	0	-396,202	-100.0%

【LPガス】

二酸化炭素排出係数：3.00

施設名	使用量 (m ³)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
もみの木園 (障がい福祉課)	417	369	-48	1,251	1,107	-144	-11.5%
旧保健医療センター	56	0	-56	169	0	-169	-100.0%
児童館2館	16	17	1	49	51	2	4.9%
道路補修 (道路管理課)	75	24	-51	225	72	-153	-67.9%
浄水管理センター (下水道課)	47	68	21	141	204	63	44.7%
消防本部 (消防総務課)	1,644	0	-1,644	4,932	0	-4,932	-100.0%
消防北分署 (消防総務課)	812	774	-38	2,437	2,322	-115	-4.7%
消防南分署 (消防総務課)	712	717	5	2,137	2,151	14	0.7%
分団6車庫 (消防総務課)	10	3	-7	30	9	-21	-69.7%
小学校6校	54	48	-6	162	144	-18	-11.3%
中学校5校	124	94	-29	371	283	-88	-23.7%
学校給食センター	1,707	0	-1,707	5,121	0	-5,121	-100.0%
適応指導教室 (教育研究所)	2	0	-2	6	0	-6	-100.0%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	2	0	-2	6	0	-6	-100.0%
市民スポーツセンター (スポーツ課)	46	0	-46	138	0	-138	-100.0%
地区センター5館	99	0	-99	296	0	-296	-100.0%
小計	5,823	2,114	-3,709	17,469	6,343	-11,126	-63.7%
公用車 ※	14	2	-12	42	5	-37	-89.2%
合計	5,837	2,116	-3,721	17,511	6,347	-11,163	-63.8%

【天然ガス】

二酸化炭素排出係数：2.22

施設名	使用量 (m ³)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
公用車	900	633	-267	1,998	1,405	-593	-29.7%
合計	900	633	-267	1,998	1,405	-593	-29.7%

【電力】

施設名	使用量 (kWh)		
	25年度 (基準年度)	2年度	対基準年度 増減量
本庁舎 (公共資産課)	1,427,493	1,441,619	14,126
綾北福祉会館 (福祉総務課)	24,213	21,667	-2,546
もみの木園 (障がい福祉課)	41,119	29,014	-12,105
本蓼川墓園 (高齢介護課)	6,214	5,083	-1,131
大上保育園 (保育課)	55,600	77,273	21,673
綾南保育園 (保育課)	51,378	51,979	601
旧保健医療センター	101,402	21,473	-79,929
児童館3館(こども未来課)	21,281	31,605	10,324
リサイクルプラザ	115,626	125,703	10,077
内訳		(95,404)	
		(30,299)	
市内公園 (みどり公園課)	318,421	293,038	-25,383
道路照明灯 (道路管理課)	1,241,434	1,106,271	-135,163
浄水管理センター (下水道課)	2,895,159	3,117,949	222,790
上土棚中継ポンプ場 (下水道課)	159,919	166,393	6,474
マンホールポンプ (下水道課)	73,170	76,880	3,710
流量計2基(下水道課)	48	48	0
消防本部 (消防総務課)	145,127	211,402	66,275
消防北分署 (消防総務課)	36,340	58,074	21,734
消防南分署 (消防総務課)	77,173	76,130	-1,043
分団6車庫 (消防総務課)	14,410	13,490	-920
小学校10校	1,499,289	2,271,592	772,303
内訳		(1,088,932)	
		(1,182,660)	
中学校5校	1,251,156	1,396,268	145,112
内訳		(664,629)	
		(731,543)	
		(96)	
学校給食センター	310,342	304,091	-6,251
適応指導教室 (教育研究所)	5,115	5,957	842
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	4,711	4,434	-277
市民スポーツセンター (スポーツ課)	528,294	306,177	-222,117
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	797,425	615,344	-182,081
地区センター5館	149,460	141,764	-7,696
内訳		(36,733)	
		(105,031)	
寺尾いずみ会館	75,086	88,535	13,449
南部ふれあい会館	81,548	75,289	-6,259
神崎遺跡資料館	-	10,811	10,811
綾西高齢者憩いの家	-	3,874	3,874
保健福祉プラザ	-	183,522	183,522
合計	11,507,953	12,332,749	824,796

二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)				
25年度(基準年度)			2年度			対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
電力事業者	排出係数	排出量	電力事業者	排出係数	排出量		
昭和シェル石油(株)	0.377	538,165	(株)F-Power	0.448	645,845	107,680	20.0%
東京電力(株)	0.531	12,857	東京電力エナジー パートナー(株)	0.457	9,902	-2,955	-23.0%
		21,834			13,259	-8,575	-39.3%
		3,300			2,323	-977	-29.6%
		29,524			35,314	5,790	19.6%
		27,282			23,754	-3,527	-12.9%
		53,844	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.334	7,172	-46,672	-86.7%
		11,300	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	14,443	3,143	27.8%
		61,397			45,741	-15,657	-26%
			(株)F-Power	0.448	(42,741)		
			ゼロワットパワー(株)	0.099	(3,000)		
		169,082	東京電力エナジー パートナー(株)	0.457	133,918	-35,163	-20.8%
		659,201			505,566	-153,635	-23.3%
		1,537,329	丸紅新電力(株)	0.308	960,328	-577,001	-37.5%
		84,917			51,249	-33,668	-39.6%
		38,853	東京電力エナジー パートナー(株)	0.457	35,134	-3,719	-9.6%
		25			22	-4	-13.9%
		77,062			96,611	19,548	25.4%
19,297	26,540	7,243			37.5%		
40,979	34,791	-6,187			-15.1%		
7,652			6,165	-1,487	-19.4%		
(株)エネット	0.423	634,199			950,262	316,062	50%
			(株)F-Power	0.448	(487,842)		
			(株)エネット	0.391	(462,420)		
(株)エネット	0.423	529,239			583,831	54,592	10.3%
			(株)F-Power	0.448	(297,754)		
			(株)エネット	0.391	(286,033)		
			東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	(44)		
東京電力(株)	0.531	164,792	(株)F-Power	0.448	136,233	-28,559	-17.3%
		2,716	東京電力エナジー パートナー(株)	0.457	2,722	6	0.2%
		2,502			2,026	-475	-19.0%
		280,524	リエスパワー(株)	0.445	136,249	-144,275	-51.4%
(株)エネット	0.423	337,311	イーレックス(株)	0.385	236,907	-100,403	-29.8%
東京電力(株)	0.531	79,363			57,224	-22,139	-27.9%
			東京電力エナジー パートナー(株)	0.457	(16,787)		
			イーレックス(株)	0.385	(40,437)		
東京電力(株)	0.531	39,871	イーレックス(株)	0.385	34,086	-5,785	-14.5%
		43,302			28,986	-14,316	-33.1%
-	-	-	東京電力エナジー パートナー(株)	0.457	4,941	4,941	皆増
-	-	-			1,770	1,770	皆増
-	-	-	みんな電力(株)	0.064	11,745	11,745	皆増
		5,507,719			4,835,061	-672,658	-12.2%

【 資料編 】

(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）

※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」

(1) 人材の育成と活用:4項目				総合評価	
No.3「環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施」について、実施はしているものの目標に達しなかったため、「一部未達成」となりました。No.2「地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加」及びNo.4「学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣」について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できませんでした。				◎	1
				○	0
				△	1
				×	2
ア 指導者の育成等	2年度目標	取組実績	評価		
① 学校等教職員の指導力向上					
1 教職員の環境に関する研修会等への参加	5人以上	小学校教頭会で研修(6月) 10人参加 自然環境調査研究会を毎月開催 45人以上参加	◎		
② 地域社会における指導者の育成					
2 地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加	5人以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×		
イ 人材の活用(指導者等の活用)	2年度目標	取組実績	評価		
3 環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施	4講座以上	1回実施(春休み子ども探検隊)	△		
4 学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣	4回以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×		
(2) プログラム等の整備と活用:6項目				総合評価	
No.8「プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供」について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できませんでした。				◎	4
				○	1
				△	0
				×	1
ア 教材・プログラムの整備	2年度目標	取組実績	評価		
5 発達段階、理解力、活動の場やテーマに応じ学習段階ごとのねらいを明らかにした体系的な環境教育プログラムの整備	補完	環境学習プログラム集を発行(3月)	◎		
6 市民・市民団体の有するノウハウを活かした体験型環境教育プログラムの整備			◎		
7 学校等における環境問題が正しく理解できるよう発達段階に応じた教材等の整備	2教材以上	自然環境調査研究会において「かわせみ」「あやびいとさがそうあやせのしぜん」を取り入れ、10回実施した。	◎		
イ 教材・プログラムの活用	2年度目標	取組実績	評価		
8 プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供	1回以上	新型コロナウイルス感染拡大により実施なし	×		
9 環境教育に関する教材、書籍、DVD等の活用	2教材以上	「綾瀬の野草」「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ」を、小中学校の環境学習の際に活用	◎		

10	環境教育プログラム作成に伴う、市民・市民団体・事業所の協力	7団体以上	市民団体3団体、事業所1社、県、市計6団体	○	
(3) 参加の場や機会づくり:37項目				総合評価	
22項目が「目標どおり」となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9項目が「未実施」、4項目が「一部未実施又は一部未達成」となりました。				◎	22
				○	2
				△	4
				×	9
ア 学校等における環境教育等の充実		2年度目標	取組実績	評価	
① 幼稚園・保育園での環境教育の充実					
幼児が、周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うため、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムの幼稚園や保育所への導入を支援します。					
11	幼児が、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムを幼稚園や保育所へ提供	2園以上	新型コロナウイルス感染拡大により実施なし	×	
環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち					
基本目標Ⅰ-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます					
12	自然(草花)やいきものへの興味と愛着を持つことを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎	
基本目標Ⅰ-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます					
13	地産地消の給食を導入する	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎	
環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち					
基本目標Ⅱ-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります					
14	水の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎	
環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち					
基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします					
15	園児とともに、園内及び園庭など施設周辺の清掃の実施	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎	
環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち					
基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します					
16	分別や資源の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎	
環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち					
基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます					
17	省エネ行動(節電・節水)を学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎	
イ 家庭・地域社会における環境教育の充実		2年度目標	取組実績	評価	
① 環境に関する学習機会の充実					
地球温暖化の防止、生物多様性の保全、健全な物質循環を課題として捉え、廃棄物などの身近なものから地球規模の環境課題まで広範囲にわたる内容とし、環境課題ごとの関連性についても理解できるような環境教育を展開します。					

知識や理解に実感を持たせ行動に結びつけるため、自然や暮らしの中での体験活動や実践体験を取り入れた、各種の体験型教室等を環境教育の中心に位置付け開催します。

18	環境展等のイベントの実施	6回以上	エコっと21(家庭編)実施(6-10月)	△
19	体験学習等講座(教室)の実施	6回以上	春休み子ども探検隊(3月)	△

② 市民団体との連携・協働と支援

20	市民団体と連携・協働して各種教室等の実施	4回以上	春休み子ども探検隊(3月)	△
21	団体活動の支援	2団体以上	ふるさと環境市民、ほたる保存会	◎

ウ 事業所が行う環境教育等への支援

	2年度目標	取組実績	評価	
22	事業所対象の講座等の実施	1回以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×
23	従業員向けの環境教育プログラムの提供	1回	環境学習プログラム集を発行(3月)	◎
24	事業所が実施する環境教育情報の提供	1回	環境学習プログラム集を発行(3月)	◎

※ 家庭・地域社会・事業者共通

	2年度目標	取組実績	評価
--	-------	------	----

環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち

基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます

25	生物多様性に係る情報の提供	2回以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×
26	自然観察会・学習会など啓発活動の実施	2回以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×

基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします

27	市内の自然や緑に関する情報の提供	1回以上	広報あやせ(3回)	◎
----	------------------	------	-----------	---

基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります

28	河川等水辺の美化活動の実施	50人以上	目久尻川クリーンアップ大作戦(5月)、比留川不法投棄パトロール(3回) 計17人	△
----	---------------	-------	--	---

基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

29	ふれあい農業体験の実施	1回以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×
30	地場農産物を活用した料理教室の実施	1回以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×
31	食育講座等の実施	1回以上	保健福祉プラザで実施(11月) 21人参加	◎

環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち				
基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします				
32	低公害車の普及・啓発事業の実施	1回以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×
33	エコドライブの啓発事業の実施	1回以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×
環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち				
基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます				
34	文化財保護啓発事業の実施	1回以上	環濠公開、たいけん考古講座、考古学オンライン講演会(2講演)など	◎
基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます				
35	自然災害への意識啓発事業の実施	1回以上	「新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営方針」及び「新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営のポイント」を作成	◎
環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち				
基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します				
36	リデュース(ごみの発生抑制)の啓発	3回以上	事業所への訪問調査を実施計3事業所	◎
基本目標Ⅳ-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます				
37	3Rの普及・啓発事業の実施	4回以上	おもちゃの病院 計6回	◎
環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち				
基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます				
38	エネルギーや地球温暖化に関する講座の実施	4回以上	EMS実行員研修(4月)、春休み子ども探検隊(3月)	◎
39	省エネ・創エネ体験などのエコイベントの実施	2回以上	エコつと21(家庭編)実施(6-10月)	◎
40	エコつと21家庭編の参加促進	100人以上	212人参加	◎
環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち				
基本目標Ⅵ-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます				
41	公開講座「ふるさと学習」の実施	1回以上	あやせ人材活用講座(10月)、課題解決セミナー(1月)、郷土を知る講座(3月)	◎
基本目標Ⅵ-2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます				
42	エコつと21事業所編の参加促進 ※	60事業所	48社	○
43	農業理解に役立つ情報提供(広報紙等掲載)	1回以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	×

基本目標VI-4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます					
44	環境関連報告書の発行	1回	環境報告書(令和元年度取組結果)発行(2月)	◎	
45	カワセミ新聞の発行	1回	市広報紙での周知に変更	○	
工 市職員への環境教育の推進		2年度目標	取組実績	評価	
46	あやせEMSの運用	不適合0	不適合0	◎	
47	研修会の実施	1回以上	EMS実行員研修(4月)	◎	
(4) 情報提供と相談体制の整備: 2項目				総合評価	
全2項目について、「目標どおり」達成しました。				◎	2
				○	0
				△	0
				×	0
ア 情報の提供		2年度目標	取組実績	評価	
48	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関し、広報あやせ、市ホームページや環境展等における情報提供	4回以上	11/15温暖化とアフターコロナ、12/1地球温暖化防止、2/1省エネ月間(3回)おもちゃの病院等3Rに関する情報(10回)	◎	
イ 相談、問合せへの対応		2年度目標	取組実績	評価	
49	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関する相談、問合せなどへの適切な対応	適宜	環境教育などのイベントに係る問い合わせなどへの対応を適宜実施	◎	
□ 小・中学校における行動計画:アクションプラン(学習指導要領)小学校14、中学校22、計36項目					
(3)参加の場や機会づくり—② 小学校・中学校での環境教育の充実(教育指導課)					
各教科、道徳、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通して環境教育に取り組むよう指導します。					
学習指導要領に基づき、地球温暖化対策(省エネルギー等)や資源循環(リサイクル等)、生物多様性の保全に関わる事項(生物多様性の重要性等)といった地球規模の環境問題と私たちの生活が関わりのあることなどを取り上げるよう指導します。					
児童・生徒それぞれの発達の段階に応じた、環境に関する教育を実施します。実施にあたっては、児童・生徒が環境に関する正しい知識を習得するとともに、自ら体験することに重点を置いた指導に努めます。					
地域の田畑、公園、緑地等を体験活動の場として、学校に応じて活用するよう指導します。					
環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち					
基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます					
1 2	小学校	身近な自然の観察			
		生物間の食う食われるという関係などの生物と環境とのかかわりを学ぶ			
1 2 3 4	中学校	自然環境の保全と科学技術の利用の有り方について学ぶ			
		自然環境を調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを学ぶ			
		自然環境保全の重要性を学ぶ			
		地球温暖化、外来種を学ぶ			


		基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
3	小学校	自然環境を大切にすることを学ぶ
5	中学校	生物の育成環境と育成技術、生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育を学ぶ
		基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります
4	小学校	自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心をもち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にすることを学ぶ
6	中学校	自然愛護を学ぶ
		基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます
5	小学校	綾瀬の農業を学ぶ
		環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち
		基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
6	小学校	公害から健康や生活環境を守ることの大切さを学ぶ
7		公害の防止など環境の保全を学ぶ
8	中学校	放射線の性質と利用を学ぶ
9		地域の実態に即して公害と健康の関係を学ぶ
		基本目標Ⅱ-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
7	小学校	綾瀬の水環境を学ぶ
		環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち
		基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
8	小学校	自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域について学ぶ
10	中学校	世界の人々の生活や環境の多様性を学ぶ
		基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます
9	小学校	国土の保全のための森林資源の働きや自然災害の防止を学ぶ
		基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします
10	小学校	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などの工夫を学ぶ
11	小・中学校	美化標語・美化ポスターへ応募する
		環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
		基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します
12	中学校	環境の保全に十分に配慮した廃棄物処理の必要性を学ぶ
		基本目標Ⅳ-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます
12	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
13	中学校	自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫と実践を学ぶ

環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち		
基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます		
13	小学校 節水や節電などの資源の有効な利用を学ぶ	
14	中学校 環境やエネルギーに関する課題を学ぶ	
15		地球環境、資源・エネルギーなどの課題解決のための経済的、技術的な協力の大切さを学ぶ
16		日常生活や社会における様々なエネルギー変換の利用を学ぶ
17	人間は、水力、火力、原子力などからエネルギーを得ていること、エネルギーの有効利用の大切さを学ぶ	
環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち		
基本目標Ⅵ-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます		
14	小学校 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ	
18	中学校 自然環境が地域の人々の生活や産業と関係をもっていることを学ぶ	
19		持続可能な社会の構築のため、地域における環境保全の取組の大切さを学ぶ
20		持続可能な社会の形成の観点から解決すべき課題探求を学ぶ
21		持続可能な社会をつくることの重要性を学ぶ
22	技術の進展が資源やエネルギーの有効利用、自然環境の保全に貢献することを学ぶ	


※環境指標から目標値を見直しています。

【 資料編 】


(5) 市民環境団体の活動報告 (50音順)

団体名	
あやせ環境ネットワーク	
団体の目的・令和2年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 第2次綾瀬市環境基本計画の推進を図るため、市と連携して持続可能な社会づくりを目指し、活動しています。</p>	
<p>【令和2年度の活動概要】 (団体会員13名、個人会員10名) 運営委員会の開催 各プロジェクトチームで啓発事業等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生や親子向けの講座 (春休み子ども探検隊～おもしろ博士と海洋プラスチックごみを探してみよう!～) ・あやせエコっと21 	

(講座等の様子)

団体名	
落合キツツキの森管理委員会	
団体の目的・令和2年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 環境保全と市民の憩いの場、健康増進の場としての役割を担うことを目的とする。</p>	
<p>【令和2年度の活動概要】 3つの森の遊歩道の整備と野草の生育環境の保全並びに、種の保全に関する奉仕活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため十分な注意を行い作業を実施しました。 ・イベントの中止 キツツキの森サマーフェスタ、野草観察会、ボランティア受け入れ等 	

(作業の様子)

団体名	
おもちゃの病院あやせ	
団体の目的・令和2年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの修理により、物を大切にする心を伝え、リサイクル意識の改善を推進する（リサイクル） ・おもちゃを通して、ドクターと子供たちのコミュニケーションを図る（地域参画） ・ドクターの技術向上と健康管理（生涯学習） <p>【令和2年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1・3日曜日 午後1時～午後3時 リサイクルプラザで開院しています。 ・2020年度は、通常年間24回程度の開院ですが、緊急事態宣言による中止で6回の開院でした。39個のおもちゃを受け付けし、33個を修理完了し返却でき、皆様に喜んで貰えたと思います。6個は、残念ながら修理完了できませんでした。 ・環境展等イベントが、中止になり広報活動に制約がありました。 	 <p style="text-align: center;">(活動の様子)</p>

団体名

NPO法人ふるさと環境市民

団体の目的・令和2年度の活動概要

【団体の活動目的】

「考えは地球規模で行動は足元から」をモットーに地球温暖化防止、マイクロプラスチックやごみの削減、フードロスなどの問題に対して、楽しくわかりやすい環境学習全般、地域の川清掃、ふるさとを愛する心を育てることを通じて地球環境保全の啓発を目的としています。

【令和2年度の活動概要】

1 環境学習出前講座

・神奈川県との協働事業

「おもしろ博士と遊ぼう！見よう！考えよう！」、「ハンバーガーはどこからくるのかな？」食べ物から地球環境を考える出前授業実施。高津養護学校(11月)

2 環境講演会

・自主事業「地球を守ろう！」環境活動家谷口たかひさ氏を講師に招き講演会開催(11月参加者70名)

3 綾瀬市との協働事業(リサイクルプラザ)

・ごみ削減に向けての紙ごみ、ミックスペーパー啓発用パネルとチラシ作成

4 「目久尻川クリーンアップ花いっぱい大作戦」

・5月、10月 川の清掃及び花の植生

5 他団体との共催事業、視察、研修他

- ・(あやせ環境ネットワーク)春休み子供探検隊「おもしろ博士と海洋プラスチックごみを探してみよう」3月、茅ヶ崎海岸 講師豊田直之氏
- ・あやせ市民活動センター主催 「NPO+SDGs」の学習会に講師として参加 11月。
- ・視察、山梨県「認定NPO法人 スペースふう」リユース食器事業 7月
- ・研修「地球を守ろう！講演会」8月
- ・年間美化活動 目久尻川のウォッチング、不法投棄監視、通報(綾西ふるさとクラブと協働)



(活動の様子)

【 資料編 】

(6) エコっと21 (事業所編) 登録事業所活動報告

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0003号 株ワイ・ケー電子	<p>マジック生産管理システム導入によりラインプロセス管理も含み効率が上がり環境負荷が50%減少した。</p> <p>それに伴いコロナ対策でもあるテレワークの実施による環境負荷低減ハイブリットカー/エアコン適正温度で省エネルギーの成果を上げた。</p> <p>ISO14001-2015版(環境マネジメントシステム)の運用により品質向上に繋がった。</p> <p>リサイクルや5Sによって空間が広がり動きやすさ空間利用による仕事の中がひろがる。</p>
第19-0005号 株横浜製作所	<p>R2年度は、廃棄物の排出量、電気の使用量ともに前年度より減少しました。制作内容・受注量にもよりますが1時間当たりの原単位値も若干ですが減少しております。</p> <p>またR3年度は、新たな活動として「運送手配便の集約」に取り組みCO2削減を目指します。</p> <p>「脱炭素社会」にむけ今後も新たな活動について模索してまいる所存です。</p>
第19-0008号 株ラテン大和	<p>全社員で環境負荷の低減に取り組めた一年だったと思います。</p> <p>削減量は月単位で前年同月、直近と結果を検証しています。</p> <p>まだまだ取り組める事が沢山あるので、常に意識しながら業務に携わっていきます。</p>
第20-0002号 株メイコー	<p>従来より廃棄物の抑制、リサイクル等、適正処理に努めてまいりましたが、全従業員が環境意識を共有することで、廃プラの大幅削減につながりました。</p> <p>引続き地道な活動を継続してまいります。</p>
第20-0003号 株東牧土木	<p>小規模な会社で、社員も少ないですが、できることから実践できたと思います。</p> <p>今後も環境問題改善に取り組んでいきたいと思っています。</p>
第20-0004号 株ネエチア	<p>今期(令和2年7月～令和3年6月)も、前年度に引き続き間接的に環境負荷を減らす事を目的として、本来業務とISO活動を完全に一体化させる活動を行いました。今期、残り1ヶ月目標の達成実現へ向け精進いたします。</p> <p>また、今期は社内の照明の一部LED化や、電力のオンデマンド管理による電力使用量の削減を実施いたしました。</p>
第20-0005号 株青柳商店	<p>環境意識を念頭において、出来る事は積極的に取り組むよう努めました。</p>
第20-0006号 株山勝	<p>当社は経費削減の意味合いも含め、使用エネルギーの削減を恒常的に取り組んでいる。</p> <p>今回は電気使用量が「微増加」の結果となったが金属スクラップの取扱量の増勢を加味すれば効率は向上している。燃料使用量については不稼働のトラック等の売却も進めたことにより減少した。</p>
第20-0007号 株栄和産業	<p>昨年から引き続きコストの低減、リサイクル化、節電を考える取り組みを行っています。</p> <p>スクラップにしていた端材を別の部品製造に活用し環境配慮しています。</p>

<p>第20-0008号 株タズミ</p>	<p>令和2年度も継続して、焼却ごみの中から燃料化を推進し、事業者、自治体より発生する産業廃棄物、一般廃棄物について再生燃料化(製造)を推進致しました。結果、11,938トン再生固形燃料として販売し利用していただくことができました。又、環境負荷低減(地球温暖化防止対策など)の取組として、トラック車両のエコドライブやエコ操作を継続的に実施し、効果を維持するとともに、トヨタの燃料電池車ミライを購入し運用開始しました。工場では、生産性を上げると同時に電力消費量の低減を目指して生産設備の入れ替えをおこない、大きな成果を得る事ができました。さらに古くなった全事業所の複合機を入替え、ペーパーレス化の推進をはかり、事務用品については、環境負荷の少ない製品(グリーン購入品など)の購入の拡大に継続し努めることが出来ました。</p>
<p>第20-0014号 侏野中工業</p>	<p>今年度はコロナウイルス等により例年より展示物や配布物が増えたが削減出来てよかった。</p>
<p>第22-0001号 株紺野企業</p>	<p>今般、行なった取組として、事務所2階の蛍光灯をLEDへ交換し電力削減に貢献。工場周辺の清掃を行いました。また、例年どおり敷地内の緑化にゴーヤとサンパチェンスと一緒に植えるグリーンカーテンにより、さらなるCO2削減を行なったことと新たに花壇を造ったこと、継続的施設として機械選別施設を重点対象とし、金属くず(スチール缶、アルミ缶)、PETボトル、ガラス瓶等の選別を開始しました。カーボンオフセットも導入し受入れ廃棄物に対してオフセット(相殺)していくことを採用しております。</p> <p>当事業所では、継続的に行われているエコアクション21(更新審査R2.3.12済)の環境活動の中で主に燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量の削減、エアコン使用の際の温度設定並びに排出抑制のための紙の使用量の抑制に取り組んでまいりました。燃料使用量に関しては、車両の増車に伴う低公害車、低燃費車の導入を行い、ガソリン使用量の削減に努めてまいりました。工場設備の工場、倉庫の増設に伴い電気使用量の削減をするためスマートメーターの導入と第一工場動力プレス機の入替えを行うことで使用電気の削減計画予定。ミスト噴霧器を導入し周囲の気温を低減する取組、使用量の把握とともに削減を継続的に行っています。紙の使用量の抑制をするために使用済みの用紙の裏紙使用。両面印刷の徹底を継続的に行っています。</p>
<p>第22-0002号 横浜乳業株</p>	<p>排水処理場の選見を通し嫌気・好気の入替を実施、良好な水質と汚泥濃度の維持ができる事となり、脱水機で引抜く余剰汚泥が減少、産業廃棄物の削減に繋がりました。また毎月行っているISO会議にて、各職場の取組状況を把握し、活動が停滞しないように事務局でフォローし、エネルギー関係や水の使用量の削減にも繋がっております。</p>
<p>第24-0005号 侏中電社</p>	<p>『資源循環・有効利用』を重点課題として継続し、4年目になりました。廃棄物の排出抑制と資源化率向上を推進し、環境負荷の低減に向けた取組は確実に定着しておりますので、今後も継続して参ります。</p>
<p>第24-0006号 株かなしんオフセット</p>	<p>各部署で環境負荷の低減を行い、前年度と比較して削減をする事ができました。引き続き環境負荷の低減を行います。</p>
<p>第25-0001号 武田商事株</p>	<p>全体的に良い取組が出来たと思う。 今年度も引き続き書類の電子化を推進したい。</p>

<p>第25-0002号 秋本食品(株)</p>	<p>2020年度は新型コロナウイルスの影響で内食が増加し、弊社のお取引先であるスーパー様の売上が好調となり、当事業所で製造している浅漬けの出荷数も2019年度より増加しました。結果、工場の製造数が増加した影響で電気、水道水の使用量が増加し、工場からの排水、野菜残渣の排出量も増加することとなりました。弊社は2003年にISO14001(環境)の認証を取得後、2016に認証を返上しております。ただ、環境活動はとても重要なため、2016以降は社内環境プログラムという形で環境負荷低減の活動を継続しております。SDGS(持続可能な開発目標)への取り組みも考えておりますので、物を作る企業として環境保全活動を継続して参ります。</p>
<p>第25-0003号 (株)高座豚手造りハム</p>	<p>従業員が取組を皆で行うことを共有し、今後新しい取り組みを行っていきけるようにしたい。</p>
<p>第26-0004号 大平食品加工(株)</p>	<p>これからの時代は資源到達は年々厳しくなっています。どれだけコストや資源を削減していきけるのかが目標です。会社全体で環境の向上に努めていきます。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所</p>	<p>前年度は目標を達成できたが今年度は未達となってしまった、主なる原因を分析して次年度に生かしたい。</p>
<p>第26-0007号 (株)アサヒコ</p>	<p>個々の意識を高め積極的に取組む事が出来たと思います。 消費電力削減に向けLED器具導入・エリア毎の人感センサー・プルダウン等設置の継続をし適正管理に努めます。 リサイクル推進に力を入れ、飼料・肥料等に転化し目標の達成に向け環境にやさしい企業へと努めていきます。</p>
<p>第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター</p>	<p>従来より、廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理や、省エネ機器の導入を進めるなど、環境負荷低減に努めております。令和2年度も、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入など、CO2排出量の削減に努めましたが、エネルギー原単位は約9.7%減少したものの、従業員増加などにより、CO2排出量は約1.1%増となりました。今後も継続して環境に配慮した取り組みを一層努めていきます。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学(株)</p>	<p>従来より取り組んでいた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。 今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場</p>	<p>社員全員が、常に環境意識を持って取り組むことができました。 コロナ禍で工場操業が約70%でしたができることから取り組むように心がけて行動しました。 今後も環境負荷低減、環境の向上に努めていきます。</p>
<p>第30-0001号 (株)ニチゲン</p>	<p>蛍光灯からLEDに交換すれば電気使用量が減少するのは当たり前のこと。 今年度からは小さなことでも構わないので従業員一人一人が環境について考えて行動出来るようにしたい。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場</p>	<p>社員全員が、常に環境意識を持って取り組むことができました。 取り組み内容は少なかつたかもしれませんが、できることから取り組むように心がけています。 今後も環境負荷低減、環境の向上に努めていきます。</p>
<p>第29-0002号 神奈川日産自動車(株)綾瀬小園店</p>	<p>全社員でリサイクル品(エコマーク商品)利用を推進し、コピー用紙等も裏紙使用する事で、使用量を20%程減らす事が出来ました。 また低公害車販売を強化し、これからも環境負荷の低減・環境の向上を考え取り組んで参ります。</p>

綾瀬市環境報告書 令和2年度取組結果
令和4年2月発行

発行 神奈川県綾瀬市
編集 市民環境部環境保全課環境保全担当
〒252-1192 綾瀬市早川550番地
電話 0467-70-5619 (直通)